

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科1年	単 位	3単位
科目コード	科目名 ファッションビジネスⅠ	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐草 勇樹	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

2年次以降のビジネスの応用のため、産業構造等のファッションビジネスの基本と用語、また企画についての基本について講義と演習で理解していく。様々な最新事象に触れながら、各自自身の意見をもち国籍などを越えて多様な価値観に触れる機会も作り、考え言語化する力も養う。

【授業計画】

1. ファッションの定義とファッションビジネスの特性・変遷

- ・ファッションビジネス基礎知識
- ・ファッション消費とビジネスの変遷（50～10年代）
- ・最新ビジネスキーワード

2. ファッション産業構造・流通・生産

- ・川上、川中、川下の役割と現状
- ・流通・生産・貿易の仕組み

3. ファッションマーケティングとマーチャンダイジング

- ・マーケティングの定義と概要、戦略
- ・マーケットリサーチ
- ・マーチャンダイジング定義・概論

4. 計数管理・ファッション販売・企業とルール

- ・計数の重要性、基礎
- ・売り場、接客の基本
- ・社会常識、企業と組織、職種

5. ファッションビジネス能力検定試験対策

- ・傾向、対策、模擬試験 ※試験日含む

6. コラボレーション演習

※マーケティングや他科目との連動にて実施

- ・プレゼンテーション準備、点検
- ・フィードバック（自己・他者評価）

7. 年間総復習

【評価方法】

総合評価：出席率30%+教科書ノート40%+テスト30%

主要教材図書 教科書：文化ファッション大系服飾関連専門講座⑫ファッションビジネス

参考図書

その他資料 ファッションビジネス能力検定対策テキスト

授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】アパレル業界の基礎知識（業界構造や流通など）から企画演習までを学ぶ

【教員】佐草勇樹：文化服装学院 専任講師

記載者氏名 佐草 勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科	単 位	2 単位
科目コード	科目名 グローバルビジネスⅠ	授業期間	(通 年)

担当教員(代表) : MOTIVES INTERNATIONAL/田島 重則	共同担当者 :
--	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

グローバルファッションとは何か? 世界のファッション構造はどの様になっているのか? 何故今、グローバルな思考が重要なのか? グローバル市場で戦う為に必要な国際意識を植え付け、創造的な“検索力・情報収集力”“分析力・編集力”を磨き、“正解のない問題に対して、考える力・解決する力”を鍛え、自分の考えを“伝える力”を育成。また、国際社会で重要な“議論する力”“質問力”を磨き、人工知能が持たない創造性豊かなビジネス思考を育成。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	* 自己紹介を兼ねて自身のNew York時代の経験談と現在勤務する米国企業との業務事例を基本に世界と日本の常識の違い、グローバル意識の向上、グローバルビジネスの重要性を伝える。	16	* 世界のファッションマーケット / 勝ち組 vs 負け組 : 日本企業 MUJI の海外戦略を基に、Global Marketへの参入の重要性を説明。
2	* ブランディングとは : 世界のブランドビジネスを参考にブランディングの意味や重要性を学習し、画像マトリックスによって各国の置かれた現状を議論、学習。	17	* 考える力 : Global で戦う思考回路、正解の無い問題に答えを出す力の育成、クリエイティブな発想でビジネスをデザインする事的重要性、想像力の育成。
3	* GlobalにおけるFashionの組み立て : 世界のファッション企業がどの様に商品を開発して、市場に送り出し、ビジネスを構築しているかを事例を基に解説。	18	弊社 米国 チームよりグローバルビジネスの実態をと可能性を解説。
4	* Global Fashion都市分析-1 : 世界4大ファッション都市を中心に、各都市の特徴とファッション市場の特性や役割をグローバル視点で解説。	19	グローバルシティ調査 : ビジネス活動・人的資源・幸福度・イノベーション等、世界の都市が持つ能力を分析。
5	* Global Fashion 都市分析-2 : 4大ファッション都市研究発表会に向けて、グループ分けし、プレゼン資料の作成方法、ガイドラインを説明。	20	* 海外進出 : 地方創生、日本企業・地方に隠れた優れた技術や美の海外進出、ブランディングの可能性を解説し、議論する。
6	* Global Fashion 都市分析-3 : グループ別作業、4大ファッション都市研究=> Input そして Output => 役割分担し、グループでプレゼン資料を構築。	21	* 海外進出 : 地方創生、日本企業・地方に隠れた優れた技術や美の海外進出、ブランディングの可能性を解説し、議論する。
7	* Global Fashion 都市分析-4 : グループ別発表会。伝える事の重要性、そして、聞いた事について議論する事の重要性を学習。	22	* 海外進出 : 地方創生、日本企業・地方に隠れた優れた技術や美の海外進出、ブランディング研究発表会に向けての資料作成作業。
8	* Global Fashion 都市分析-5 : グループ別発表会。伝える事の重要性、そして、聞いた事について議論する事の重要性を学習。	23	* 海外進出・地方創生 : 発表会
9	* Branding と Import, Export, License Business : Business における大きな収益部分である Import, Export, License Business貿易のあり方を説明。	24	* 海外進出・地方創生 : 発表会

10	*Branding と Import, Export, License Business : Business における大きな収益部分である Import, Export, License Business 貿易のあり方を説明。	25	* 海外進出・地方創生：発表会
11	UI / UX Design、AI / Singularity : 新たな商品開発領域を理解し、新時代の商品とビジネス開発を理解し、AI と共存しながらの新しいビジネス運営を考える。	26	* 海外進出・地方創生：ブレインストーム
12	* 世界のファッションマーケット/ラグジュアリー マーケットを知る:世界を支配する 3 大コングロメリット企業、そして LVMH からラグジュアリービジネスの構造を学習。	27	* まとめ：世界における日本の実態、今後必要不可欠なGlobal 市場参入についてのまとめ。
13	* 世界のファッションマーケット/ファストファッションマーケットを知る:近年のファッションマーケットを大きく変えた世界のファストファッション構造を Inditex / Zaraのビジネスモデルを基に説明。	28	
14	* 世界のファッションマーケット/アッパーミドルマーケットを知る:日本が得意とし、グローバルマーケットにおいて、まだ伸び代があり、参入可能な状況を解説、議論。	29	
15	* 世界のファッションマーケット/アパレルマーケットの未来: 世界のアパレル市場と日本のアパレル市場の相違点を理解し、日本企業の課題を見出し、今後の展望を考える。	30	

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席率（25%）、授業態度・授業内での質問力（25%）、プレゼンテーション・論文（50%）、</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料 The Business of Fashion、現在の Global における実務資料、マーケティング資料、インターネット

記載者氏名

20 年の NY 生活、グローバル展開をするアメリカ企業の日本代表を通して、企業のグローバル化に向けたビジネス経験をもとに、グローバルで戦うために必要な国際意識を養い、情報収集力、分析力、思考力、伝達力の育成とともに、議論する力、質問力を磨き、創造性豊かなビジネス思考を育成する授業を実施。

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 1 年	単 位	3 単位
科目コード	科目名 マーケティング	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐草勇樹	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

目的を持って情報収集し整理分析する力、アイデアを出す力を身につける。そのためマーケティングの基礎であるリサーチから始め、その情報をもとにどのようにアパレル業界は運営されているのか、講義、実習を通して学ぶ。また「調べる・見る・聞く」の実践を通し、客観的にモノを見ることの重要性を理解する。また企業とのコラボレーションを通して実務とマーケティングの関係性を理解し次年度以降のビジネスの応用につなげていく。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

◇目標を達成するための課題設定

- 客観的にものを見て判断する力を養う→リサーチ
- マーケティングの中のマーケットリサーチを学ぶ→比較調査、企画のためのリサーチ計画から調査・分析・企画立案・発表
- 考えや表現物を他者に伝えていくこと→プレゼンテーション(課題提出ごとに)

◇授業概要(全 42 コマ)

1. マーケティングの基本であるマーケットリサーチとは(講義・演習)

・流通の仕事に不可欠なマーケティングの中のリサーチについて

2. 顧客満足の価値観が及ぼす市場への影響を知る(講義・実習・発表)

- ・お買い物に対する意識を世代別に把握⇒時代の流れと価値観の変化を知る
- ・ターゲットセグメンテーションの重要性を、売り方を考える実習を通じて体感する

■課題:「お買い物ヒアリング」■課題:「売り方を考える」

3. 業態別リサーチ(講義・市場調査・グループワーク実習・発表)

・百貨店・ショッピングセンターのインショップ、セレクトショップ・ワンブランドショップの路面店の調査を通して業態ごとの特徴(売り方の違い、立地、客層など)を知りファッション業界の小売がどのように運営されているのか調査分析する

■課題:「ショップリサーチ(百貨店・CS・セレクトショップ・ワンブランドショップ)レポート」

4. 企業コラボ演習(スポットで実施/講義・実習・発表)

- ・セレクトショップノベルティー企画のためのリサーチ計画と調査・分析
- ・リサーチ報告書からノベルティー企画を考える(裏付けのある提案とは)
- ・企画内容プレゼンテーションとフィードバック

■課題:「リサーチ結果を踏まえたノベルティー企画」(グループ課題)

5. 前期後期まとめ(講義)

・マーケティングにおけるリサーチの重要性

6. プランニング演習(講義・実習・発表)

・ブランドのプランニングを通じて、マーケティングを学びクリエイティビティとビジネスを結び付けて学んでいく。

【評価方法】

学業評価(平常授業応答、課題)70% 授業姿勢(出欠状況、授業課題提出状況)30%

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 講義記入プリント、ワークシート

授業の特徴

授業聴講によるインプットだけでなく、リサーチ・分析を基にした企画等のアウトプット課題を行うことで理解を深める

担当教員紹介

佐草勇樹

- ・専修大学商学部商業学科、文化服装学院ファッションビジネス科卒業後、マーケティング会社でレディースマーケットのリサーチとブランドコンサルティングを経験。ファッションビジネス検定1級取得。

記載者氏名 佐草勇樹

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 1 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 アパレル商品構成基礎	授業期間	前期

担当教員(代表)： 中野 麗子	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

基礎縫い、カジュアルパンツ、リメイクのアパレル商品構成を通じ、裁縫道具やミシン、ロックミシン、アイロンの使い方等、基礎知識と技術を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

導入	1 コマ	講義	実習
基礎縫い パターンメイキング	1 コマ	講義	実習
ミシンの使い方	1 コマ	講義	実習
ロックミシンの使い方	1 コマ	講義	実習
マーキング・裁断	1 コマ	講義	実習
縫製・完成	4 コマ	実習	
パンツパターンメイキング	1 コマ	実習	
マーキング・裁断	2 コマ	実習	
縫製・完成	7 コマ	実習	
リメイクデザイン相談	1 コマ	講義	実習
各自のデザインでリメイク	7 コマ	実習	
完成 発表	1 コマ	発表	

評価方法・対象・比重

S～C・F 評価 評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書 コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ 商品構成

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

実習を伴うアパレル造形科目
文化服装学院専任講師担当

記載者書名欄 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA1	科 名 ファッション流通高度専門士科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル商品論 I	授業期間	通年

担当教員(代表)：徳満真紀	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 講義・実習を通し商品のアイテム名、ディテール、商品の計測の計測を学ぶ。 アイテム分析実習を行いファッション業界で必要な商品知識の基礎を習得、向上を目指す。 店頭の商品調査実習をすることで商品の縫製や品質、デザインに関する情報収集の基礎を学び理解を深める。
--

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 1 授業内容導入・講義・レポート (2 コマ) 1 アパレル商品知識授業内容、単位、評価について 2 アパレル商品と消費者 (品質表示、アパレル商品のサイズ表示) 概説 2 スカート商品知識・講義・実習・レポート (5 コマ) 1 スカート名称・スカート丈・ディテールの商品知識 2 スカート商品分析・グループで詳細を分析し各自レポートまとめ 3 小テスト (習得知識の確認) 3 パンツ商品知識・講義・実習・レポート (5 コマ) 1 パンツ名称・パンツ丈・ディテールの商品知識 2 パンツ商品分析・個人で詳細を分析し各自レポートまとめ 3 小テスト (習得知識の確認) 4 ボトム (スカートとパンツ) 市場調査・講義・実習・レポート (3 コマ) 1 店舗市場調査の目的と現状把握し商品の傾向とターゲットの関係を理解 2 アイテム毎に代表的な素材、縫製やフィッティングのチェックポイント知る 3 店舗市場調査・エリア限定、個人で調査し各自レポートまとめ 5 シャツ・ブラウス商品知識・講義・実習・レポート (5 コマ) 1 シャツ、ブラウス名称・ディテールの商品知識 2 シャツ、ブラウス商品分析・個人で詳細を分析し各自レポートまとめ 3 小テスト (習得知識の確認) 6 ジャケット商品知識・講義・実習・レポート (5 コマ) 1 ジャケット名称・ディテールの商品知識 2 ジャケット商品分析・個人で詳細を分析し各自レポートまとめ 3 小テスト (習得知識の確認) 7 トップス (シャツ、ブラウスとジャケット) 市場調査・講義・実習・レポート (3 コマ) 1 店舗市場調査の目的と現状把握し商品の傾向とターゲットの関係を理解 2 アイテム毎に代表的な素材、縫製やフィッティングのチェックポイント知る 3 店舗市場調査・エリア限定、個人で調査し各自レポートまとめ

【評価方法】 学業評価(平常授業応答、課題) 70% 授業姿勢(出欠状況、授業課題提出状況) 30%
--

主要教材図書 文化ファッション体系改訂版ファッション流通講座②コーディネートテクニック アパレル編 I (商品知識)
参考図書 ファッション辞典
その他資料 実物標本 (ファッションリソースセンター)

授業の特徴 授業聴講によるインプットだけでなく、リサーチ・分析等のアウトプット課題を行うことで理解を深める 担当教員紹介：文化服装学院 専任教授

記載者氏名 徳満 真紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA1	科 名 ファッション流通高度専門士科	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル素材論	授業期間	通年

担当教員(代表)：吉村とも子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル製品の主な素材である布地の種類、特徴を習得し、様々なアパレル製品になった際の特徴を予想できる知識を得ることを目的とする。繊維、糸、布地（織物・編物）、また染色、加工などの種類や特徴を、「講義」「実習」で理解を深めていく。

知識としての習得だけではなく、アパレル業界で実践できる力を習得できるものとする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 概論 ・アパレル素材について ・品質表示について ・繊維の定義について	講義	4コマ
2. 繊維について (1)・繊維の形状、性能による分類および名称、用語について	講義	2コマ
(2)・繊維の鑑別(顕微鏡、呈色法)について	講義・実習	3コマ
(3)天然繊維の種類、構造、成分、特徴について	講義	6コマ
(4)化学繊維の種類、特徴について	講義	2コマ
3. 糸について (1)紡績糸、フィラメント糸について	講義	1コマ
(2)糸の撚り、撚りの強弱について	講義・実習	2コマ
(3)糸の太さについて	講義	
(4)ファンシーヤーン、加工糸について	講義	
4. 布地について (1)織物について(構造、組織、特徴など)	講義	3コマ
(2)編物について(構造、特徴)	講義	3コマ
5. 繊維製品の取り扱い・耐洗濯性・しみ抜きについて	講義	1コマ
	計	27コマ

【評価方法】

学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書

文化ファッション大系服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義とともに実習を取り入れ、アパレルの素材について学習する。
文化女子大学(現文化学園大学)卒業。文化服装学院勤務、現在講師。

記載者氏名 吉村とも子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA1	科 名	ファッション流通高度専門士科1年	単 位	2単位
科目コード	502100	科目名	ファッション色彩	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 桑野恵美	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション分野における色彩の基本的な知識とテクニックを講義と演習を通して学ぶ。色を体系的、心理的、科学的視点からも学ぶことにより、目指す現場で感覚だけに頼らないより効果的に色彩を活用するための基礎をつくることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. オリエンテーション (1コマ)〈講義・演習〉
2. 色彩の基礎 (6コマ)〈講義・プリント演習・課題作成〉
○色の三属性とトーン ○等色相面 色立体 純色・清色・濁色 ○ヒュー&トーンシステム
3. 色彩の識別 (2コマ)〈講義・プリント演習〉
○色相の識別 ○トーンの識別
4. 配色の基礎 (1) (3コマ)〈講義・プリント演習〉
○色相を基準とした配色 ○トーンを基準とした配色
○フォ・カマイユ配色 トーン・オン・トーン配色 トーン・イン・トーン配色 トーナル配色
5. 配色の基礎 (2) (3コマ)〈講義・プリント演習〉
○ドミナント配色 コントラスト配色
○シンメトリー アシンメトリー レピテーション グラデーション セパレーション アクセント
6. 色彩の機能 (1コマ)〈講義〉
○色彩のはたらき ○ファッションにおける色彩の役割
7. 色彩の科学 (1コマ)〈講義・プリント演習〉
○光と色 ○三原色と混色
8. 色彩の生理学 (1コマ)〈講義・プリント演習〉
○眼球の構造とはたらき
9. 色彩心理 (2コマ)〈講義・プリント演習〉
○色彩の感情効果 ○色の見え
10. 色彩の伝達 (1コマ)〈講義・プリント演習〉
○固有色名 慣用色名 系統色名 ○記号
11. ファッション産業における色彩の役割 (2コマ)〈講義・プリント演習・課題作成〉
○企画段階の色彩情報の整理
12. ファッション産業の色彩 (5コマ)〈講義・プリント演習・課題作成〉
○服飾デザインにおける色彩表現 ○パーソナルカラー

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準: 学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書『ファッション色彩1』(文化出版局) ファッション色彩能力検定3級問題集

参考図書

その他資料 ベーシックカラー140 カラーチャート

授業の特徴と担当教員紹介

ファッション・アパレルにおける販売・商品企画・店舗 V M D 等の活動経験をもとに、
ファッション業界における色彩の基本的な知識の習得とその活用スキルを身につける授業を行う。

記載者氏名 桑野 恵美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション高度専門士科 1 年	単 位	2 単位	単位
科目コード	科目名	ファッションコーディネート	授業期間	(通年)	

担当教員(代表)：野口 恭子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
時代への適応力を持ち合わせ、客観的に捉えたファッションコーディネートの提案能力を養う。
実物を使用して、実践的に取り組みながら学習することを目標とする。

【授業計画】

- ・ファッションコーディネートの基本的な知識と技術・・・・・・2コマ（講義2コマ）
- ・ファッションイメージに視点を置いたコーディネート・・・・・・9コマ（講義3コマ 実習6コマ）
（クラシックイメージ／エレガントイメージ／ロマンティックイメージ／スポーティブイメージ／
エスニックイメージ／マニッシュイメージ／モダンイメージ／アヴァンギャルドイメージ）
- ・アクセサリに視点を置いたコーディネート・・・・・・8コマ（講義3コマ 実習5コマ）
（イヤリング／帽子）
- ・カラーに視点を置いたコーディネート・・・・・・8コマ（講義2コマ 実習6コマ）
（フォカマイユ／コントラスト／セパレーション／アクセント／トーンオントーン／
トーンイントーン／グラデーション／マルチ）

合計 27コマ

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価 90% 授業態度 10%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

【担当教員】 野口 恭子

記載者氏名 野口 恭子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 科目コード RA11606700	科 名 科目名 ファッション流通高度専門士科 1 年 ファッション販売	単 位 授業期間	単位 ()
-----------------------------	--	-------------	-----------

担当教員(代表)： 中山 修	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション販売を通じ社会人として身に付けなければならない常識・道徳・礼節を学び習得する。刻々と変化するファッションビジネスにおいて柔軟な思考を持ち様々な販売スタイルに対応する思考を学ぶ。販売・接客の技術を学び、『物を売る』という行為が様々なビジネスの根幹にあるということを認識する。

【授業計画】

販売を高度なコミュニケーション能力と位置付け、販売業に必要な技術、知識にのみならず、販売を中心としたアパレル・ファッション業界全般との仕事のやりとり、それらを円滑に進めるための常識・道徳・礼節の習得。

スタートは『仕事とは』になにか。つまり専門性の高い仕事の為の授業への理解を高めます。授業を受け入れる為の器作りを目的とし、興味・好奇心を引き出し学びの重要性の理解を目的とします。

販売の体験 今自身の好きなお店へ訪問し販売を体験してもらいます。現場の販売の理解・お客様から売る側への意識の転換を目的とし販売を受けた感想の発表及びディスカッション。販売に対する既存のイメージの再構築の指導。各々が体験した販売と実際に求められていく販売とのギャップを整理・理解してってもらいます。(1コマ)

販売の周りの仕事。販売の周辺の仕事の理解により仕事の明確化と良い仕事の仕方を学びます。小売業務における基本用語の習得。

MD→仕入れ・制作→販売。納品→販売→購入又は物流への返品。など前後の仕事の理解による立ち位置の理解。その他 客注、修理、ストックなどの業務の存在・基本用語の指導を行います。(2コマ)

販売員(社会人)としての心得。挨拶・表情・気遣い・笑顔・言葉使いを目的とし、第一印象の重要性への理解。挨拶・表情・気遣い・笑顔・言葉使いなどの指導及び実技。人に伝えることの重要性を学ぶ。お客様と共に働くスタッフとのコミュニケーションの重要性の理解。

遅刻・掃除・身だしなみ。遅刻・掃除・身だしなみにおける重要性への理解。遅刻が及ぼす影響、掃除という仕事の多面性、身だしなみの影響。(2コマ)

EC とリアル店舗の関係性。SNS と販売の関係性。運営側からみる EC とリアル店舗の理解。SNS の扱いの知識の習得。EC における販売技術の重要性(セールスライティング)の指導。SNS の活用方法及び危険性の指導。弊社店舗をサンプルに展開します。(1コマ)

夏季休暇の課題に自信の好きな物。アパレルに拘らずに幅広く条件を開き、数分間の制限時間で他者におすすめする。一つは自身の好きな事、物をすすめる。これにより知識、経験、感動をアウトプットすることにより自分のコントロールできるものになるという経験の習得。もう一つはファッションをビジネスとするときに必要な感覚の一つに、カルチャーや経験をファッションに落とし込むと言う物があります。それらはファッション外へ伸ばしたアンテナによりキャッチする認識能力だと考えます。人に感動や経験をすすめるトークを自分の物にする、様々な事柄への認識能力を高める、この二つの習得が目的です。(2コマ)

販売・接客の流れの把握。及び技術の習得

販売という仕事の流れ・型がありその全体像の把握。エンターテイメントとしての接客技術。アプローチ・商品説明・日常会話これらの技術の詳細及び販売の流れの指導。アプローチの実技・商品説明、知識の習得の必要性の理解。日常会話の必要性の理解。

コーディネート提案・クロージング・動的待機・商品整理(おたみ含む)の指導。コーディネート提案の必要性と実技。クロージングの重要性と流れ。動的待機の重要性の理解。商品整理の重要性と実技。

修理・客注・レジ操作・犯罪への対応指導・災害への対応指導。パフォーマンスとしての心得。修理・客注・レジ操作などの実務の理解。犯罪、事故、災害への対応。SNS 業務の理解。SNS 業務などの指導。クレーム対応の指導。クレームとは何かの認識。(3コマ)

再度、実店舗へ行き接客を受けレポート提出。接客、販売を授業受け、販売する側としての視点を持ちどのように変わったか。自身を分析し発表。発表の際は内容だけでなく人に伝える適性の声量か、敬語の使い分けなども評価しコミュニケーションがしっかり取れているか、アピールできているか等も評価対象とします。(2コマ)

【評価方法】

出席 20% 授業姿勢 40% 学業評価 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料
授業の特徴と担当教員紹介 特徴 ファッション販売業を基本としそこから派生するコミュニケーション能力の重要性。時代によって変化していく小売業の販売の仕方の多様性に焦点を置いた講義。 紹介 2009 年販売代行会社 Interlude 合同会社設立。販売スキルに重点を置いたスタイルの会社です。 2014 年株式会社 OriginalThoughts 設立 代官山にてセレクトショップ goodLIFESTORE を運営
記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科1年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ファッション史	授業期間	通年 ()

担当教員(代表)：石上 美紀	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 ファッション史の通史的、概論的講義。古代から現代に至る西洋を中心とした歴史の流れと服装の推移発展を理解させる。特にヨーロッパの服装の変化と特性に重点を置き、現代ファッションの生成を理解し、学生が今後ファッション業界でその知識を活かせるようにする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション (講義)	16	近代の服飾(3) 19世紀後期 (講義)
2	衣服の起源 (講義)	17	近代の服飾(4) アール・ヌーボーとアール・デコ (講義)
3	古代の服飾(1) (講義)	18	1910年代ファッション (講義)
4	古代の服飾(2) (講義)	19	1920年代ファッション (講義)
5	中世の服飾(1) (講義)	20	1930年代ファッション (講義)
6	中世の服飾(2) (講義)	21	1940年代ファッション (講義)
7	近世ルネサンスの服飾(1) (講義)	22	1950年代ファッション (講義)
8	近世ルネサンスの服飾(2) (講義)	23	1960年代ファッション (講義)
9	近世バロックの服飾(1) (講義)	24	1970年代ファッション (講義)
10	近世バロックの服飾(2) (講義)	25	1980年代ファッション (講義)
11	近世ロココの服飾(1) (講義)	26	1990年代～2000年代ファッション (講義)
12	近世ロココの服飾(2) (講義)	27	19世紀から20世紀まとめ 小テスト (演習)
13	近世まとめ 小テスト (演習)	28	※本年度博物館見学、レポート課題(実習)
14	近代の服飾(1) 19世紀前期 (講義)	29	
15	近代の服飾(2) 19世紀中期 (講義)	30	

評価方法・対象・比重

① S、A、B、C、Fのアルファベット評価 学業評価…85% 授業姿勢…15% ※左記を目安に総合的に評価する

主要教材図書 「文化ファッション大系 服飾関連専門講座①改訂版・西洋服装史」、ファッション辞典（文化出版局）

参考図書 折に触れ紹介する

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 実物資料や、画像、映像資料などを盛り込み、幅広くファッションの歴史を学ぶ授業。
 石上美紀…2007年～文化服装学院非常勤講師。

記載者氏名 石上 美紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA1	科 名 ファッション流通高度専門士 1年	単 位	2単位
科目コード	科目名 コンピュータワーク I	授業期間	通年

担当教員(代表)：塚田大祐

共同担当者： なし

【授業概要、到達目標・レベル設定】

オフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じて使い分けられることができると表現方法に広がりを持たせることを目標とする。
また、クラウドを活用してのデータ共有等の現場活用できる利用方法を習得する。

- ドロー系ソフト（Illustrator）の基礎とペイント系ソフト（Photoshop）の基礎
- オフィスソフト（Excel・PowerPoint）の基礎

【授業計画】

授業は全て講義・実習で行い、練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく。

■オリエンテーション 1コマ

- 教室利用の注意事項、及び個人ID利用の説明・日本語入力の基礎確認

■プレゼンテーション作成ソフト（PowerPoint / Excel Microsoft社製）6コマ

- PowerPoint ①ツール基本操作 ②スライドの作成 ③画像の利用 ④アニメーション・画面切り替えの設定
- Excel ①表作成および四則演算 ②基本関数 ③グラフ作成 など

■フォトレタッチ系ソフト（Photoshop / Adobe社製）6コマ

- 基本操作、画像の加工方法及び、印刷物へ利用する為の画像の基本知識・操作を習得
- ①画像選択 ②合成/加工/修正の方法と手順 ③課題 Instagramにアップする画像の制作

■ドロー系ソフト（Illustrator / Adobe 社製）7コマ

- 基本操作、MAPや企画書を作成していく上で必要となる機能・操作を習得
- ①ツール操作方法 ②図形・線の描画 ③文字の入力 ④課題 コラージュの制作
- 適材適所のソフトの利用と実践での理解度確認／マップ制作を通じて適切なソフト利用の確認を行う

■Photoshop / Illustratorの連携操作による課題制作 8コマ

- Web / 印刷物に利用するための画像加工方法
- 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明
- <課題> 自分の好きなブランドのトレンドを予測したA3サイズのイメージマップ制作

全コマ数：28コマ

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価70%、授業姿勢10%、出席率20%

主要教材図書：事前に準備した素材を配布

参考図書：特にありません

その他資料：筆記用具

記載者氏名 塚田大祐

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

科コード	RA2	科 名	ファッション流通科2年/流通高度専門士科1～4年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	パソコンスキル b	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本 タク	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[illegible]

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材圖書

参考図書

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科	1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 自由研究		授業期間	集中

担当教員(代表)：佐草勇樹	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッション流通高度専門士科の4カ年で実施する「マイビジネスプロジェクト」立案に向けて1年次において自らの方向性を確立させるべく、様々な物事に対して「調べる・見る・聞く」を実践。その都度記録を残す習慣をつけるために、自由研究ファイルを作る。
- ・最終的には、成果発表を実施する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、情報収集→企画のタネを探す

- ・興味の対象を探し、足を運び、見て、記録する(Watch&Report)

情報整理

- ・情報ファイル作り
- ・更に深く調査する対象を検討する
- ・企画のタネがビジネスになるかどうかも含め検討

2、興味・着眼した事項を独自の視点を持って調査研究

情報収集結果 プレゼンテーション

独自の視点での調査研究

- ・ステップシート利用による着眼の深掘り
- ・プレゼンテーションツール(パワーポイントによるマップ)作成
- ・成果発表リハーサル
- ・成果発表プレゼンテーションの実施

【評価方法】

学業評価(平常授業応答、課題)70% 授業姿勢(出欠状況、授業課題提出状況)30%

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴

個々のファッションへの興味関心を、ワークシートや面談を行い、掘り下げる。

担当教員紹介

佐草勇樹

- ・専修大学商学部商業学科、文化服装学院ファッションビジネス科卒業後、マーケティング会社でレディースマーケットのリサーチとブランドコンサルティングを経験。ファッションビジネス検定1級取得。

記載者氏名 佐草勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科 1 年	単 位	各 1 単位
科目コード	科目名	オーラルトレーニング a/b (自由選択)	授業期間	集中

担当教員(代表)：高橋 優

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

第二外国語学習に対する単位認定。20 時間以上の学習を以って 1 単位の認定とする。
各自のレベルに合わせた学習を集中・継続して行うことにより、発音や表現の向上を目指す。

【授業計画】

- ・単位語学留学 g/h 各 1 単位取得。
- ・1 単位当たり 47 回（1 回 25 分）の学習をもって 1 単位の認定とする。
- ・学生自身が自身のレベルに合わせた留学先を探し、申し込みをする。または学校が契約をしているオンライン英会話学習 教材を申し込む。
- ・レベルに合わせた目標を設定し、実習を行う。
- ・学修先の受講証明書を発行し、提出をする。
- ・上記証明書と共に成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。

【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 佐草 勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科1年	単 位	1,2年1単位
科目コード	科目名	インターンシップb (自由選択)	授業期間	(集中)

担当教員(代表)：佐草 勇樹	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>社会に出てからのキャリア向上に向けた実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。</p>

<p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップb1単位取得 ・主に就職内定先や、各自のキャリア向上のために学生自身がインターンシップ先を開拓する。 ・インターンシップ先の業務内容と各自のキャリア設計に合わせた目標を設定し、実習を行う。 ・インターンシップ先の指導責任者の方にフィードバックをいただく。 ・研修中のレポートは定期的に点検を行い、終了後は成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。

<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、実習内容のフィードバック、レポートと成果報告書を基に評価を行う。</p>
--

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名	佐草 勇樹
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科1年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 コラボレーション a/b (自由選択)	授業期間	集中

担当教員(代表)：佐草勇樹	共同担当者：川井佐江子 中野麗子 高橋優
---------------	----------------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

リサーチから企画立案、発表を通し、共感を呼ぶ価値の創造とコミュニケーションを学ぶ。また企業とのコラボレーションによる実践的学びと実務家からの評価いただくことで、業界におけるビジネスの現状を知る。グループワークを行うことで、コミュニケーション力やリーダーシップ、チームビルディングを体験する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

回数	テーマ	学習内容・方法
1	コラボレーション概要説明	講義
2	市場調査	演習
3	ディスカッション	講義・演習
4	企画立案①	講義・演習
5	企画立案②	講義・演習
6	中間報告・フィードバック	講義
7	企画立案修正	講義・演習
8	イベント準備①	講義・演習
9	イベント準備①	講義・演習
10	イベント準備①	講義・演習
11	コラボレーション実施①	演習
12	コラボレーション実施②	演習
13	コラボレーション実施③	演習
14	まとめ・振り返り	講義

評価方法・対象・比重

出欠、課題、グループワーク、発表

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 佐草 勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 1 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 English Communication I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 増田和香子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

初級程度の英文法を学んだ学生を対象に文法の復習と、口頭での運用力の強化を主な目標とする。英語の音声に慣れ、標準的な英語の発音をインプットし、日常会話の中で自然にアウトプットができるようになることを目標とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Orientation	演習	1	Review of the spring semester & Culture 1	演習	1
Unit 1: Classroom English and self-introduction	演習	1	Unit 13: Likes and dislikes (gerunds)	演習	1
Unit 2: How to pronounce the fashion brands	演習	1	Unit 14: The modal verbs (1)	演習	1
Unit 3: Occupations	演習	1	Unit 14: The modal verbs (2)	演習	1
Unit 4: Calendar (an ordinal number)	演習	1	Unit 15: Prepositions	演習	1
Unit 5: Adjectives 1 (weather and temperature)	演習	1	Unit 17: Giving directions	演習	1
Unit 6: Pronouns	演習	1	Comprehensive review of asking for and giving directions	演習	1
Unit 7: Demonstrative pronouns	演習	1	Unit 16: Conjunctions	演習	1
Unit 8: Time and frequency	演習	1	Unit 18: Adjectives 2 (for materials)	演習	1
Unit 9: The past tense	演習	1	Culture 2: Christmas (Holiday season)	演習	1
Unit 10: The present perfect tense	演習	1	Unit 19: Comparison	演習	1
Unit 11: Daily routine (the present tense)	演習	1	Preparation for the final presentation	演習	1
Unit 12: "wh" questions	演習	1	Final exam	演習	1
			Final presentation	演習	1

【評価方法】平常点(出席、クラス参加) 30%、中間試験 30%、ライティング 10%、期末試験 30%の評価基準を用い、S~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

標準的な英語の音声をインプットし、発音とアクセント、イントネーションに気を付けながら発話練習を行う。

主要教材図書 *Essential English for Fashion Students* (文化服装学院編)

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科1年	単 位	2単位
科目コード	科目名 キャリアディベロップメントⅠ	授業期間	通期

担当教員(代表)：二上 武生	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

フィールドワーク課題、自由研究課題を通し、自分の興味を明らかにし、ビジネススキルを修得する

- ・自分を掘り下げて、ファッションと自分の原点を探る
- ・興味のあるファッション情報や社会課題などに着目する
- ・研究、調査方法を磨く
- ・文章作成やプレゼンテーションを通じた表現力を磨く
- ・チームワーク力を磨く

【授業計画】

- I. ガイダンス・キャリアについて考える……………（講義・個人ワーク）＜2コマ＞
 - ・授業のねらい、授業の概要の理解
 - ・文化服装学院進学理由から将来の目標をイメージする
- II. ビジネススキルを修得する……………（講義・個人ワーク・プレゼンテーション）＜3コマ＞
 - ・レポーティングスキル
 - ・プレゼンテーションスキル
 - ・チームワークスキル
- III. 自分とファッション興味を掘り下げる……………（講義・個人ワーク・プレゼンテーション）＜5コマ＞
 - ・自分の過去の具体的出来事や社会課題から探る
 - ・ロールモデルから探る
- IV. ビジネスマナーの修得……………（講義・ケーススタディ）＜1コマ＞
 - ・履歴書の書き方
 - ・アポイントのメールの出し方や電話のかけ方
- V. ビジネスにふれる・企画力を磨く（フィールドワーク課題の実践）（講義・個人ワーク・プレゼンテーション）＜9コマ＞
 - ・「コンセプト」を考える
 - ・伝えるプレゼンテーション力を磨く／スライドの作り方を学ぶ／表現方法を学ぶ
 - ・企画プレゼンテーションを実践する
 - ・フィールドワーク課題／振り返り（企画立案、プレゼンテーション、チーム協働）
- VI. 将来について考える（自由研究課題の実践）……………（講義・個人ワーク・プレゼンテーション）＜5コマ＞
 - ・自由研究課題について考える
 - ・やりたいことを考える
 - ・調査研究方法について考える（行動計画立案含む）
 - ・自由研究課題発表のプレゼンテーションを考える
- VII. 学習内容振り返り……………（講義・個人ワーク・プレゼンテーション）＜1コマ＞

※各授業でプレゼンテーションやレポート作成を行う

【評価方法】

プレゼンテーション・レポート80%＋グループワーク20%

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 随時配布

授業の特徴と担当教員紹介

教員講義による一方向の授業ではなく、教員により提供された情報や考え方をもとに学生自ら考え、それを伝えるアクティブラーニング型授業です。

記載者氏名 二上武生

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 1年	単 位	2単位
科目コード	科目名 特別講義	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐草 勇樹

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

このコースの1年次の目標である「広く知って興味を持つ」、そのきっかけをつくる。
ファッションを広く捉え、グローバルに活躍する人材から社会の現状やビジネスの難しさ、楽しさを学び、幅広い視野を持ち、キャリアを積み上げていく柔軟な発想へつなげていくことを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. 特別講義……………(講義)

特別講義のカテゴリーは

- ・古着業界について「好きとビジネス」
- ・チームビルディング
- ・ファッションとITの可能性
- ・コレクションの世界
- ・職種研究
- ・工場見学
- ・舞台衣装見学
- ・情報を読む
- ・販売員の仕事
- ・MDの仕事
- ・ファッション業界におけるサステナビリティ
- ・Eコマースの現状
- 他

【評価方法】

学業評価(平常授業応答、課題)70% 授業姿勢(出欠状況、授業課題提出状況)30%

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴

現在アパレル業界やファッション関連業界で活躍している方の実務経験を中心に講義いただく

担当教員紹介

コラボレーション企業や卒業生を中心に、毎回講師を依頼し実施

記載者氏名 佐草勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科 1年	単 位	単位 2
科目コード	科目名	フィールドワーク	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐草 勇樹	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

専門科目、関連科目の授業の進行に合わせた場所を実際に訪れ、その対象を直接観察し、客観的な情報を集め調査分析をする力を身に着ける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ別所要コマ数

1. フィールドワークについて・導入

・科目の目的、概要の理解

2. 合同展示会（ファッションワールド東京）見学

・ファッションワールド東京見学・セミナー見学にて業界の今を体感する

3. 業態リサーチ リサーチ実習

・マーケティング運動授業 各業態についてのリサーチ

4. 企業コラボ演習 ショップリサーチ実習

・プロモーション（ノベルティ）企画のプランニングのためのショップ・エリアリサーチ

5. 学生コミュニケーションプログラム実習

・FIT学生との交流プログラムの実施

・クラス内コミュニケーション向上のためのプログラム実施

【評価方法】

学業評価(平常授業応答、課題)70% 授業姿勢(出欠状況、授業課題提出状況)30%

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴と担当教員紹介

実際の市場やビジネスの現場を「調べる・見る・聞く」の実施を通して体験理解する

佐草勇樹

・専修大学商学部商業学科、文化服装学院ファッションビジネス科卒業後、マーケティング会社でレディースマーケットのリサーチとブランドコンサルティングを経験。ファッションビジネス検定1級取得。

記載者氏名 佐草勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA2	科 名	ファッション流通高度専門士科 2年	単 位	2単位
科目コード	600020	科目名	ファッションビジネスⅡ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：黒川 智生	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1年次で学んだことを基礎として、時代の変化を捉え、潮流となりえるビジネスについて、事例を踏まえて現状と今後について学ぶ。また、ロジスティックスやECビジネスの後方業務など、普段は見えない範囲へも視点を広げてゆきたい。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

<前期：14コマ>

- イントロダクションと年間計画
- 近年のファッションビジネス動向のまとめ
- ファッション生活と消費①&②
- ファッション産業構造①&② + 校外学習を含む
- ファッションマーケティング
「マーケティングの現在、アパレルブランド、小売企業のマーケティングの実際」

<後期：15コマ>

- マーチャンダイジング①&②
「基礎復習と中級へのアプローチ」
- マーチャンダイジング③～⑤
「アパレルMD」「リテールMD」「VMD」
- アパレル生産と物流①～③
「アパレル生産管理」「アパレル物流(B2B)」「アパレル物流(B2C)」
- ファッション流通とコミュニケーション
「アパレル流通戦略と出店(ECを含む)」「卸営業とSPA店舗管理」「集客を含む各種プロモーション戦略」
- ビジネス基礎知識
「マネジメント、IT知識」「企業会計」「FBIに関する法務の知識」「貿易に関する知識」

【評価方法】

総合評価：出席率20%+講義内課題(夏季休暇レポート)10%+テスト60%+特別加点10%を合計し、S～C、F評価を判定します。

主要教材図書 『ファッションビジネス2級 新版』 一般財団法人 日本ファッション教育振興協会

参考図書 随時紹介します。

その他資料 各講義単位でレジメを配布します。

授業の特徴と担当教員紹介

- ・理論解説とともに、各章のトピックは講義内演習や校外授業を通じて、実際のビジネス視点を養ってゆきます。
- ・授業の各種連絡、課題提出などは、指定の Google Classroom を活用します。各個人の学びが多くなるようにしましょう。
- ・株式会社ワールドにてブランド運営業務(18年)、2006年独立。日本+東アジア圏のファッションブランドを支援中。

記載者氏名 黒川智生

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 グローバルビジネス II	授業期間	(通 年)

担当教員(代表) : 田島 重則	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

グローバルな視点とクリエイティブな視点で、スピーディーに変化する世界のファッションビジネスの重要ポイントを分析。海外企業との交流を通し、グローバルスタンダードを理解し、自分自身のヴィジョンを明確に、具体的にグローバルファッションビジネスへ反映させる思考の育成。そして、世界で戦えるプレゼンテーションスキルを磨き、伝える事、議論する事を学習。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	*1年次のGlobal Business 内容をReview、2年次の展望を考える。	16	* 海外企業との協業：US 企業（私に関わる会社）の ビジネス企画立案を一緒に作成。
2	*Fashion Market in New York / New York 市場分析:進化する近年のNew York トレンドをエリア別に解説。	17	グローバルコミュニケーション：世界と付き合う為の本当に必要なグローバルスタンダードを学習し、適切なビジネスコミュニケーションを学習。
3	*Fashion Market in Tokyo：ファッション的視点で東京のエリア別ファッション小売店を海外に紹介。	18	* 世界のファッション企業分析:世界で活躍、成功する企業・ブランドの実態を研究 / 日本の企業との差を探る。そして、今後の Global との付き合い方を学習。
4	*Fashion Market in Tokyo：グループ別発表。	19	* 世界のファッション企業分析:世界で活躍、成功する企業・ブランドの実態を研究 / 日本の企業との差を探る。そして、今後の Global との付き合い方を学習。
5	* 社会動向とファッション：1960 -現在までの社会の流れとファッションの流れを年表によって説明（服装史とは別のグローバルビジネスの視点で分析）	20	* グローバル企業研究：成功グローバル企業を分析し、成功要因からビジネスを学ぶ。ビジネス戦略から吸収すべき事柄を Input => Output.
6	* 社会動向とファッション：1960 -現在までの社会動向とファッションへの影響を画像にて解説。	21	* グローバル企業研究：成功グローバル企業を分析し、成功要因からビジネスを学ぶ。ビジネス戦略から吸収すべき事柄を Input => Output.
7	* Education Between US and Japan: 日本とアメリカの教育の違いから生まれる様々な価値観の違いとビジネス意識を知る。リーダーシップ、ビジネス戦略、世界との関わり方を解説。	22	* グローバル企業研究：成功グローバル企業を分析し、成功要因からビジネスを学ぶ。ビジネス戦略から吸収すべき事柄を Input => Output.
8	* 世界の未来予測：2030年- 2050年を一区切りに、社会・経済・文化・技術の観点で、どのようなキーワードがあるかを探り、未来予測をしてみる。	23	* グローバル企業研究：発表。プレゼンテーションスキルを磨き、伝える事、議論する事を学習。
9	* 世界の未来予測：2030年- 2050年を一区切りに、社会・経済・文化・技術の観点で、どのようなキーワードがあるかを探り、未来予測をしてみる。	24	* グローバル企業研究：発表。プレゼンテーションスキルを磨き、伝える事、議論する事を学習。

10	* Design Solusion : 世界が抱える問題点を理論的に分析し、人間の感性の力で解決できるビジネスモデルを考える。	25	* グローバル企業研究 : 発表。プレゼンテーションスキルを磨き、伝える事、議論する事を学習。
11	*Design Solusion : Global 世界における課題・問題点を情報収集し、クリエイティブな企画案で問題解決に導くビジネスモデルを構築。	26	*まとめ : 弊社海外スタッフを含めグローバル意見交換会。
12	* Global MD 基礎 : MD 構造の基礎を指導し、グローバルビジネスに対応できる計画書作成等の数字編を指導。	27	*まとめ : 弊社海外スタッフを含めグローバル意見交換会。
13	* 海外企業との協業 : US 企業 (私が関わる会社) の ビジネス企画立案と一緒に作成。	28	
14	* 海外企業との協業 : US 企業 (私が関わる会社) の ビジネス企画立案と一緒に作成。	29	
15	* 海外企業との協業 : US 企業 (私が関わる会社) の ビジネス企画立案と一緒に作成。	30	

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席率 (25%)、授業態度・授業内での質問力 (25%)、プレゼンテーション・論文 (50%)、</p>
--

主要教材図書

参考図書

その他資料 The Business of Fashion、現在の Global における実務資料、マーケティング資料、インターネット

記載者氏名

グローバル展開をするアメリカ企業の日本代表を通して、世界中の企業と深く関わり、グローバルな視点とクリエイティブな視点で、スピーディーに変化する世界のファッションビジネスの重要ポイントを分析させ、ヴィジョンを明確に、具体的にファッションビジネスへ反映させる思考の育成とプレゼンテーションスキルを磨く授業を実施。

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA2	科 名	ファッション流通高度専門士科2年	単 位	4単位
科目コード		科目名	ビジネスプランニング	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：黒川智生

共同担当者：なし

【授業概要、到達目標・レベル設定】

コースの設置目的である「国際感覚を身につけながら、新たなビジネス展開を構築できる人材を育成」に沿って、実際のビジネス課題に即した事業のプランニングと運営の基礎を学ぶことを目標とする。個人の学びは、3年次以降で組み立てる“マイビジネスプロジェクト”に活かしてゆく。

【授業計画】

●前期(14回)

- ①ビジネスとはどんなコトなのか？ ②プランニングの基礎-1 ③“FB アワードY2024”への企画提案
- * “FB アワードY2024” →ファッションビジネス学会主催の学生向けビジネス系アワード。4月末要項発表。
- * ③では、クラス全体を6つのチームに分け、個人別の「ファッションにおける課題と思う事」のテーマ別に、それらを解決するビジネスを提案してゆく。インパクトある提案と上位入賞を目指す。

●後期(46回)

- ④プランニングの基礎-2 ⑤ビジネス企画実践
- * ⑤では、前期での企画立案内容を実現させてゆくために、2025年に向けてまず取り組むべきことを決める。企画は学外で業界関係者、一般の生活者へ訴えて初めて実践となる
- 「展示会出展+EC販売」、「EC販売+リアル店舗運営」の2方面から、実践の方向性を探り、具現化させたい。

【備考】

- ・授業日程については、後期のビジネス企画実践に時間を割く必要から変則的になる。2月下旬終了予定。
- ・全員が参加し、全員で構成する。成果をシェアする。→誰か一部の人が発表するスタイルではない！

【評価方法】

- ・出席 20点=20点×出席率(X/60)
- ・講義課題Ⅰ8点=10点×提出率(遅れ分、未達分は半分)
- ・講義課題Ⅱ62点=2回の企画の成果(25点+37点)
- ・特別加点10点=各自の取り組みに対し、加点します。

主要教材図書 特になし

参考図書 随時紹介します。

その他資料 随時紹介します。

授業の特徴と担当教員紹介

- ・理論解説とともに、チーム別の個別課題へのアドバイスを通じて、実際のビジネス視点を養ってゆきます。
- ・授業の各種連絡、課題提出などは、指定のGoogle Classroomを活用します。各個人の学びが多くなるようにしましょう。
- ・株式会社ワールドにてブランド運営業務(18年)、2006年独立。日本+東アジア圏のファッションブランドを支援中。

記載者氏名 黒川智生

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 リテールマネジメントⅠ	授業期間	通年

担当教員(代表)：佐草 勇樹	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 ・時代と共に変化する消費行動やビジネスモデルの現状を分析し、リテール領域において数年先を提案できる思考を身につける。更にブランドというものを体系的に理解し、これから先を見据えたビジネス企画を提案する

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション、導入 古着マーケットのリサーチ・分析①	15	D2C からみる時代の価値観③
2	古着マーケットのリサーチ・分析②	16	D2C からみる時代の価値観④
3	これからのリアル店舗の役割①	17	D2C からみる時代の価値観⑤
4	これからのリアル店舗の役割②	18	D2C からみる時代の価値観⑥
5	これからのリアル店舗の役割③	19	ファッションマーチャンダイジング連動授業
6	これからのリアル店舗の役割④	20	ファッションマーチャンダイジング連動授業
7	これからのリアル店舗の役割⑤	21	ファッションマーチャンダイジング連動授業
8	これからのリアル店舗の役割⑥	22	ファッションマーチャンダイジング連動授業
9	これからのリアル店舗の役割⑦	23	販促会議に見る企業課題と解決案
10	未来型店舗 OMO の分析、考察①	24	販促会議に見る企業課題と解決案
11	未来型店舗 OMO の分析、考察②	25	販促会議に見る企業課題と解決案
12	未来型店舗 OMO の分析、考察③	26	販促会議に見る企業課題と解決案
13	D2C からみる時代の価値観①	27	振り返り・まとめ
14	D2C からみる時代の価値観②	28	

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】リテール、リアル店舗をベースにした事例と今後の消費行動・消費心理をクロスさせながら未来のリテールを提案する

【教員】佐草勇樹：文化服装学院 専任講師

記載者氏名 佐草 勇樹

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科 名 ファッション流通高度専門士科 2 年	単 位	3 単位
科目コード	科目名 ファッションマーチャンドライジング I	授業期間	()

担当教員(代表)：勝又 淳司	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マイビジネスプロジェクト立案を念頭に、ファッションにおけるマーチャンドライジングの基礎を習得する。マーチャンドライジングの基礎となる計数知識を身に着ける。およびブランドのリサーチを通し、マーチャンドライジングにおける5適の基礎を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. オリエンテーション・カリキュラム概要説明	講義・演習	1コマ
2. MDの5適・マクロ環境の分析	講義・演習	2コマ
3. MDにおける売上の重要性について	講義・演習	4コマ
4. MDリサーチ① 春夏編	講義・演習	4コマ
※店頭のMDに関するリサーチについて、資料のまとめから発表までを実施。		
5. MDにおける在庫の重要性について	講義・演習	3コマ
6. MDリサーチ② 夏～秋編	講義・演習	3コマ
※店頭のMDに関するリサーチについて、資料のまとめから発表までを実施。夏物から秋物の立ち上げりに関してリサーチ。		
7. MDの展開方法について(シーズン別・アイテム別)	講義・演習	3コマ
8. MDにおける外部/内部環境・PL/BSの分析	講義・演習	2コマ
9. MD企画演習(PEST・SWOT分析)	講義・演習	5コマ
10. MD企画演習(プロモーション計画)	講義・演習	4コマ
11. MD企画演習(リハーサル・発表)	講義・演習	4コマ
12. 総括 当講義の総括と計数関連の確認	講義・演習	4コマ
		計39コマ

【評価方法】 出席2割・課題5割・試験3割

主要教材図書 無し

参考図書 無し

その他資料 プリントを配布し、講義内容の補足をするとともに関連する計数の問題を解き、理解を深める。

授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】

マーチャンドライザー経験者の教員より、実務で活用できる考え方や知識をレクチャー

【担当教員紹介】

2006年 文化服装学院卒。国内スポーツアパレルメーカーでのMD、営業、文化服学院での専任教員を経て日本女子大学 専任講師。修士(学位：政策)、TES(繊維繊維製品品質管理士)。環境経済学の理論を元に繊維産業の需給バランスを適正化する研究を行っている。

記載者氏名 勝又 淳司

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RD2	科 名	ファッション流通高度専門士科2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	ブランディング	授業期間	前期

担当教員(代表)：高橋 優	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ビジネスの根幹となる8つのブランディングステップを中心に、ブランドだけでなく商品やイベント企画におけるブランディングのプロセスの理解と習得を目指す。

【授業計画】		
コマ	テーマ	内 容
1	ブランディング構築手法の 8つのステップ	<ul style="list-style-type: none"> 講義内容に合わせたスライドを提示し指導 配布テキストに記載しながら学ぶ
2		
3	ブランディングの 8つのステップ	Step1 現状分析…環境分析による市場機会の発見
4		Step2 市場細分化
5		Step3 見込み客の選定
6		Step4 独自性の発見
7		Step5 ブランドアイデンティティ
8	ブランディング演習	Step6 具現化…マーケティングミックス
9		Step7 刺激の設計&行動指針
10		Step8 目標設定
11		1年次の企業コラボレーションで行った企画提案を ブランディングのワークシートに落とし込みをする
12		
13	成果発表	ブランディングのワークシートへ落とし込むことで ブランディングの8つのステップ、ブランディングの プロセスを学ぶ
14		
15	発表発表	発表に対してフィードバックを行い良かった点、 改善点から次の学びにつなげる

【評価方法】
レポート+出席状況 (5:5)

参考図書	・デジタル時代に知名度ゼロから成功する！ブランディング見るだけノート（宝島社）
	・新版 ブランディングの基本（日本事業出版社）
	・成長企業の世界基準ノウハウ ブランディング7つの法則（日本経済新聞出版社）

記載者氏名	高橋 優
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科 名 ファッション流通高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード 609800	科目名 商品プロダクト戦略	授業期間	前後期

担当教員：加藤紀人	共同担当者：
-----------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の業務の内、生産実務についての理解を深める。アパレル製品の仕様や縫い目、副資材などの細部に至る品質を見極め、商品企画内容を生産に反映させるための基礎力をつける。

生産依頼をする際の帳票の内容を理解し、作成ができるレベルを目指す。

【授業計画】

- I. ガイダンス (1)
- II. 生産担当者の位置づけ (2)
 - ①既製品の生産プロセス
- III. 生産実務の概要 (3)
 - ①生産担当者の役割と実務の手順
- IV. 生産前の準備と管理 (6)
 - ①生産対象品の把握
 - ②加工情報
- V. 生産実行と管理 (5)
 - ①縫製工場
 - ②取引契約
- VI. 生産の後処理 (2)
 - ①原価計算
- VII. 品質と検査 (2)
 - ①品質基準
- VIII. 縫製仕様の基礎知識 (4)
 - ①シャツの縫製仕様
 - ②カットソーの縫製仕様
 - ③パンツの縫製仕様
 - ④ジャケットの縫製仕様
- IX. 今後のアパレル生産 考察 (2)

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価 70%、授業姿勢 30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 私製プリント

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル生産の実務内容と製品の基礎知識について学ぶ。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者氏名 加藤紀人

2024 年科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 ファッション流通高度専門士	単 位	2 単位
科目コード	科目名 ネットビジネス	授業期間	通年

担当教員(代表)：一般財団法人 ネットショップ能力認定機構 櫻木 諒太	共同担当者：
--	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
デジタル技術がファッション業界に与える影響を理解し、ネットとリアルの特性を生かしたビジネスの企画立案ができるようになることを目標とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ネットビジネスの基礎スキル	16	Web サイト制作 1
2	検索スキルの習得 1	17	Web サイト制作 2
3	検索スキルの習得 2	18	ネットビジネス企画 1
4	検索スキルの習得 3	19	ネットビジネスのプロトタイプ作成 1
5	ファッション×インターネットビジネス研究 1	20	ネットビジネス企画 2
6	ファッション×インターネットビジネス研究 2	21	ファッションテック最新動向
7	ファッション×インターネットビジネス研究 3	22	ネットビジネス企画 3
8	コミュニケーションプランニング 2	23	ネットビジネスのプロトタイプ作成 2
9	SNS 分析プロジェクト	24	デジタル広告
10	SNS アカウント運営実習 1	25	ネットビジネスの仮説検証 1
11	SNS アカウント運営実習 2	26	ネットビジネスの仮説検証 2
12	SNS アカウント運営実習 3	27	事前準備
13	SNS アカウント運営実習 4	28	成果発表
14	ネットビジネスの作り方	29	
15	ファッションテック最新動向	30	

評価方法・対象・比重 *比重は【】内に記載

評価対象① 出欠状況（学習姿勢・取り組み状況）【4】

評価対象② 提出物【6】

主要教材図書：
参考図書：
その他資料：各コマ（講師）別の補助資料、参考サイト・動画など

記載者氏名：一般財団法人ネットショップ能力認定機構 櫻木 諒太

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科 名 ファッション流通高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 アパレル商品論Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：久保田 智美	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 アパレル業界で働くために必要なアパレル商品知識を身につけることを目標とする。
 1 年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの構造やディテールの名称などの知識をより深く理解し、現場でアウトプットできるようにする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・アパレル総論、概要	15	ジャケット・スーツの知識③
2	フォーマルウェアの知識①	16	スカートの知識①
3	フォーマルウェアの知識②	17	スカートの知識②
4	フォーマルウェアの知識③	18	パンツの知識①
5	アパレル商品の柄の知識①	19	パンツの知識②
6	アパレル商品の柄の知識②	20	サイズ・商品サイズ・計測の知識①
7	アパレル商品の柄の知識③	21	サイズ・商品サイズ・計測の知識②
8	アパレル商品の柄の知識④	22	ニット&カットソーの知識
9	衿ぐり、袖、袖ぐりの名称	23	コートの知識①
10	シャツ、ブラウスの知識①	24	コートの知識②
11	シャツ、ブラウスの知識②	25	コートの知識③
12	シルエットの知識	26	ランジェリー、フォームウェアの知識
13	ジャケット・スーツの知識①	27	アパレル小物の知識
14	ジャケット・スーツの知識②		

【評価方法】S～C・F評価 評価基準：学業評価(授業態度、ミニテスト、前後期試験含む) 60% 出席姿勢40%

主要教材図書	文化ファッション体系ファッション流通講座②コーディネートテクニック アパレル編Ⅰ（商品知識）
	文化ファッション体系ファッション流通講座①コーディネートテクニック アパレル編Ⅱ（商品構成）
参考図書	ファッション辞典
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 久保田 智美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RL2	科 名	ファッション流通高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード		科目名	色彩活用学	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：桑野恵美	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションを中心としたビジネスの企画・販売における色の効果を知り、その活用方法を学ぶ。
自己のビジネスプロジェクトにおいて 企画コンセプトの表現や、ビジュアル表現、プレゼンテーションなど幅広く色彩の効果的な活用を目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

導入 (1コマ：講義)

○授業内容と目的、教材の確認 ○好きな色/嫌いな色

色とイメージ/色の機能性 (1コマ：講義・演習)

○視認性/誘目性

配色の応用1 (2コマ：講義・演習)

○ドミナントカラー配色/ドミナントトーン配色/コントラスト配色/

ナチュラルハーモニー/コンプレックスハーモニー

配色の応用2 (1コマ：講義・演習)

○季節のイメージ/ファッションイメージ

ユニバーサルデザインにおける色彩 (1コマ：講義・演習)

○色覚のしくみ/色彩の機能の活用

色分析 (2コマ：講義・演習)

○配色分析

商品価値を高める色名 (1コマ：講義・演習)

○重ねの色目/慣用色名の活用

色の伝達 (2コマ：講義・演習)

○マンセルシステム/ 三属性による色の表示/色見本

<p>カラーバリエーション（２コマ：講義・演習）</p> <p>○色相の移調/トーンの移調</p> <p>流行色～時代と色～（２コマ：講義・演習）</p> <p>○時代を色で表現する（流行色の予測と提案）</p> <p>産業と色彩（５コマ：講義・演習）</p> <p>○情報としての色彩/商品企画における色彩計画/色彩管理</p> <p>色彩調和の考え方（２コマ：講義・演習）</p> <p>○色彩調和論（ゲーテ /オストワルト /イッテン/ムーン&スペンサー）</p> <p>○ジャッドによる色彩調和の法則</p> <p>パーソナルカラーの応用（１コマ：講義・演習）</p> <p>○アンダートーン（イエローアンダートーン/ブルーアンダートーン）</p> <p>カラー活用の実践（５コマ：講義・演習）</p> <p>○カラープランニングの流れ/カラーコンセプトイメージの設定/カラーパレットの作成/</p> <p>カラープランニングシート作成 /プレゼンテーション</p>
<p>【評価方法】</p> <p>S～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%</p>
<p>主要教材図書『ファッション色彩Ⅱ』（文化出版局）</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料 ベーシックカラー140 B5 版、B8 版、カラーチャート（1 年時使用）</p>
<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>ファッション・アパレルにおける販売・商品企画・店舗 VMD 等の活動経験をもとに、ファッション業界における色彩実務に関する専門的知識とその活用方法を身につける授業を実施。</p>
<p>記載者氏名 桑野 恵美</p>

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA2	科 名	ファッション流通高度専門士科2年	単 位	1単位
科目コード		科目名	デザイン文化史	授業期間	後期

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

メイクアップコースとの合同授業として、どちらの学科にも通底する「基礎」という点に着目した内容。大きく分けて「基礎知識」と「基礎デザイン」という観点から、ファッション業界を目指す人材として広く知っておくべきカルチャーの知識やデザインの考え方を、可能な限り実践形式で伝達する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション	座学・ワークショップ	1
エディトリアルデザイン	座学・ワークショップ	2
カルチャー史解説	座学	3
素材研究	座学・ワークショップ	3
造形演習① 粘土・ガムテープ	座学・ワークショップ	2
造形演習② 切り絵	座学・ワークショップ	2

【評価方法】

出席率、演習課題の提出状況と完成度

授業の特徴と担当教員紹介

四大卒後、文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に8年間勤務。日本美術・西洋美術の知見を用いて美術・デザインを分析的に見る視点をもとに、デザインの方法論を考察・一般化して学生に届ける。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 布施伊織

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科名 ファッション流通高度専門士科2年	単 位	2単位
科目コード	科目名 コンピューターワークⅡ	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：高橋 翼

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

現場で必須のデザイン系ソフト、Illustrator/Photoshop とオフィス系の PowerPoint/Excel を使用。1年時に学んだ基本操作からのステップアップとして、中、上級レベルのスキルに対応したものとする。

・グラフィック系ソフト: Adobe Illustrator / Photoshop ・オフィス系ソフト: Microsoft Excel / PowerPoint

■オリエンテーション

- 教室利用の注意事項、ログイン方法、一年間のスケジュールについて

■製品図の基本

- Illustrator を使用し、製品図の描き方（ベジェ曲線、Tシャツ、ワイシャツなどのテスト）
- Tシャツにグラフィックを入れる（⇒グラフィックのデザイン⇒ロゴやテーマを決めて各自デザインをする。）

■製品図の応用

- ルックから製品図を再現する

■オリジナルブランドデザイン

- ブランドロゴ、ペルソナ、PKGなどの作成

■オリジナルアイテムの提案

- ポスター、構成表、POP-upストア提案などの資料一式

【評価方法】

評価基準：学業評価70%、授業姿勢10%、出席率20%

主要教材図書

参考図書

その他資料 必要によってノートPC、USB など記憶媒体は各自持参

高橋 翼

デザイン事務所、デザイン専門学校学科長、アウトドアスポーツメーカーを経て現在に至る。ファッションやプロダクト、サスティナブル分野を中心にデザイン活動、教育、ワークショップなど幅広く活動。

記載者氏名 高橋 翼

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択	授業期間	前期
	科目名 選択帽子（布帛）		

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

科コード	RA2	科 名	ファッション流通科2年/流通高度専門士科1～4年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	パソコンスキル b	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本 タク	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[illegible]

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材圖書

参考図書

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科 名 ファッション流通高度専門士科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 企業研究	授業期間	後期

担当教員(代表): 中野 麗子	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
就職活動と3年次の長期インターンを見据え、希望職種・希望分野を絞り込んでいく。選択した企業への研究・分析を通じて目に見える商品やサービスと企業理念の関係性に触れ、自身の方向性の選択に活かしていく

コマ	内 容
1	オリエンテーション
2	キャリアカルテ記入
3	企業リサーチの方法
4	企業研究・キャリアポートフォリオ・担任面談
5	企業研究・キャリアポートフォリオ・担任面談
6	企業研究・キャリアポートフォリオ・担任面談
7	企業研究・キャリアポートフォリオ・担任面談
8	企業研究・キャリアポートフォリオ・担任面談
9	企業研究・キャリアポートフォリオ・担任面談
10	エントリーシート作成 面接マナー
11	エントリーシート完成 面接マナー
12	模擬面接
13	模擬面接
14	模擬面接
15	キャリアカルテ完成 まとめ

評価方法・対象・比重 レポート提出 30% 出席日数 70%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

最新の企業動向に触れ、3年次のインターンに向け自身の方向性を見出す
文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 中野 麗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科4年	単 位	各1単位
科目コード	科目名	オーラルトレーニングc/d (自由選択)	授業期間	(集中)

担当教員(代表)：中野麗子

共同担当者：川井佐江子 佐草勇樹 高橋優

【授業概要、到達目標・レベル設定】

第二外国語学習に対する単位認定。20時間以上の学習を以って1単位の認定とする。
各自のレベルに合わせた学習を集中・継続して行うことにより、発音や表現の向上を目指す。

【授業計画】

- ・単位語学留学g/h 各1単位取得。
- ・1単位当たり47回(1回25分)の学習をもって1単位の認定とする。
- ・学生自身が自身のレベルに合わせた留学先を探し、申し込みをする。または学校が契約をしているオンライン英会話学習 教材を申し込む。
- ・レベルに合わせた目標を設定し、実習を行う。
- ・学修先の受講証明書を発行し、提出をする。
- ・上記証明書と共に成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。

【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 中野麗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科4年	単 位	1,2年1単位
科目コード	科目名	インターンシップb (自由選択)	授業期間	(集中)

担当教員(代表)：中野 麗子	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>社会に出てからのキャリア向上に向けた実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。</p>

<p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップb1単位取得 ・主に就職内定先や、各自のキャリア向上のために学生自身がインターンシップ先を開拓する。 ・インターンシップ先の業務内容と各自のキャリア設計に合わせた目標を設定し、実習を行う。 ・インターンシップ先の指導責任者の方にフィードバックをいただく。 ・研修中のレポートは定期的に点検を行い、終了後は成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。

<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、実習内容のフィードバック、レポートと成果報告書を基に評価を行う。</p>
--

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名	中野 麗子
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科4年	単 位	1単位
科目コード	科目名 コラボレーションcd（自由選択）	授業期間	集中

担当教員（代表）：中野麗子	共同担当者：川井佐江子 高橋優 佐草勇樹
---------------	----------------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 リサーチから企画立案、発表を通し、共感を呼ぶ価値の創造とコミュニケーションを学ぶ。また企業とのコラボレーションによる実践的学びと実務家からの評価いただくことで、業界におけるビジネスの現状を知る。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

企業とのコラボレーションにより、リサーチから企画の種を探し、提供価値をコンセプトとして表現し、コンセプトを具現化していくプロセスを学ぶ。

また、グループワークを行うことで、コミュニケーション力やリーダーシップ、チームビルディングを体験し、上級ではマネジメント力を身に付ける機会とする。

評価方法・対象・比重
 出欠、課題、グループワーク、発表、レポート

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野麗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA2	科 名	ファッション流通高度専門士科2年	単 位	3単位
科目コード		科目名	English Communication IIA	授業期間	通年

担当教員(代表)：ヴォーン・アリソン	共同担当者：
--------------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. To gain confidence in speaking without being afraid of mistaking mistakes.
2. To enjoy communicating in English.
3. Realizing the value of studying English, while getting students well prepared for next year's Business English course. This year, with the implementation of the DMM Eikaiwa program, students' talk time will increase dramatically, which will help achieve the above goals.

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
コース概要説明	演習	1	施設や建物の特徴について説明する	演習	2
発音と発声	演習	1	REVIEW	演習	1
各裁縫道具の名称	演習	1	人の外見や性格について説明する	演習	2
売り上げと数字	演習	1	得意なこと、不得意なことについて説明する	演習	2
モデルへの指示出し	演習	1	日常生活でのアドバイスの仕方	演習	2
ウォーミングアップ・エクササイズ	演習	1	サイズの尋ね方とタグの見方	演習	2
自己紹介と相手への質問の仕方について	演習	2	1000 QUESTIONS: 1-3	演習	2
私のジョブキャリアについて	演習	1	1000 QUESTIONS: 4-6	演習	2
見た目を表す形容詞	演習	1	1000 QUESTIONS: 7-10	演習	2
数に関する表現	演習	2	1000 QUESTIONS: 11-13	演習	2
道案内	演習	2	1000 QUESTIONS: 14-17	演習	1
飲食店で使われる表現	演習	1	1000 QUESTIONS: 18-20	演習	1
諸外国を代表する食べ物	演習	2	年度末プレゼンテーション	演習	1
疑問文のバリエーションとその答え方	演習	2	年度末試験	演習	1

【評価方法】

授業参加度(25%) DMM英会話履修状況(25%) プレゼンテーション(25%) プロジェクト(25%)

授業の特徴と担当教員紹介 オンライン英会話であるDMM 英会話を導入し、受講者の発話の機会を増やす

主要教材図書 大人の基礎英語(NHK) SEASON 5
LET'S TALK ABOUT IT (1000 QUESTIONS FOR CONVERSATION)

参考図書

その他資料

記載者氏名 ヴォーン・アリソン

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA2	科 名	ファッション流通高度専門士科 2 年	単 位	3 単位
科目コード		科目名	English Communication II B	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

高校までの英文法を「聞く」「話す」という観点から復習し、コミュニケーション能力の強化を図る。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙・表現を増やすことにも重点を置いたプログラムとしている。過年度に行ったブレイスメントテストの結果に基づいたクラス編成とし、各学生のレベルに合わせて進度を調整する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
コース概要説明	演習	1	文法⑪分詞	演習	1
自己紹介/血縁関係を表す語/性格を表す形容詞	演習	1	受動態	演習	1
文法①名詞	演習	1	文法⑫比較級	演習	1
アクティビティ : 名詞	演習	1	比較を用いた表現	演習	1
文法②代名詞 (1)	演習	1	文法⑬前置詞	演習	1
アルファベットカードを用いたアクティビティ	演習	1	店内マップと案内	演習	1
文法③代名詞 (2)	演習	1	文法⑭接続詞	演習	1
スキミングとスキヤニング	演習	1	接頭辞と意味	演習	1
文法④動詞 (1)	演習	1	プレゼンⅡ私の尊敬する人	演習	1
アクティビティ : 動詞	演習	1	文法⑮関係詞	演習	1
文法⑤動詞 (2)	演習	1	イディオム	演習	1
基本文型とその使い方	演習	1	裁縫道具の名称	演習	1
文法⑥助動詞	演習	1	間違い探し/クロスワード	演習	1
プレゼンⅠ私の人生設計	演習	1	借用語と和製英語	演習	1
文法⑦形容詞・副詞	演習	1	著名人のプレゼン	演習	1
ファッション・スタイルを表す形容詞 感情を表す形容詞	演習	1	疑問詞とインタビュー	演習	1
文法⑧現在形	演習	1	数表現	演習	1
フェアリーテイル	演習	1	店内ポップと企業スローガン	演習	1
文法⑨～ing 形	演習	1	新年の抱負	演習	1
文法⑩過去形・現在完了形	演習	1	学年末プレゼン (準備)	演習	1
アクティビティ : 過去形・現在完了形	演習	1	学年末プレゼン (発表)	演習	1

【評価方法】

授業参加度 (25%) DMM英会話履修状況 (25%) プレゼンテーション (25%) プロジェクト (25%)

授業の特徴と担当教員紹介

コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける

主要教材図書 適宜プリントを配布する。

参考図書

その他資料

記載者氏名 三村 典召

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科2年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	文化人類学	授業期間	()

担当教員(代表)：佐藤壮広	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 本授業のねらいは次の2点である。1ー文化人類学の基礎概念を理解する。2ーその知見を自身のモノ作りや実務に活かす。日常生活における身近な出来事を「文化」という視点で捉え、その視点を制作や自身のキャリア形成に活かすプランづくりができるようになることが、授業の到達目標である。なお、博物館・美術館などデザイン・ビジネスに関連する施設の見学も実施する予定である。
--

【授業計画】 授業は、解説と演習（ミニ・ワーク）をまじえて、以下の項目を扱う。受講生が取り組む何らかの制作過程や出来上がる作品において、「文化」という視角がどのように有効であるかという点について時おり問いかけつつ授業を進めていく。 1-文化人類学の方法と対象（「文化」の概念、異文化理解） 2-フィールドワーク（観察、記述、理論化） 3-「厚い記述」（「意味の網の目」、文化の解釈） 4-エスノグラフィー（民族誌、質的研究、社会科学方法論） 5-デザイン・ビジネス見聞実習（都内博物館・美術館の見学実習と振り返り） 6-メディアとマーケットの人類学（人類学的視点の可能性、個と社会の分析）

【評価方法】 学業評価60％、授業姿勢40％

主要教材図書	教科書は用いません。
参考図書	波平恵美子編『文化人類学 カレッジ版』医学書院 1993、山口昌男『文化人類学への招待』岩波新書 1982
その他資料	授業関連資料は適宜、授業において提示・配布します。

授業の特徴と担当教員紹介 担当教員の専門は、人類学（表現文化論、沖縄研究）です。シャーマニズムという領域横断的なテーマを研究しています。特に、思想や世界観を可視化する営み（歌、踊り、図像など多様な表現文化）の現代的意義について探究し、自身も体験を「歌詞化」する表現・ワークショップを実践しています。
--

記載者氏名	佐藤壮広
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA2	科名 ファッション流通高度専門士科2学年	単位	1 単位
科目コード	科目名 キャリアデベロップメント	授業期間	(前期)

担当教員(代表)：杉本直鴻	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 ・ 学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義＋実習を通して身につけさせる

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方 (就職活動の進め方、心構え)	講義	1
2. 第一印象の重要性 (立ち居振る舞い、身嗜み)	講義・実習	1
3. 話し方・聞き方、物の受け渡し	講義・実習	1
4. 自己分析① <自分理解>	講義・実習	1
5. 自己分析① <学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析② <他己紹介>	講義・実習	1
7. 言葉遣い・基礎 (正しい言葉遣い、敬語)	講義・実習	1
8. 電話応対・基礎 (ビジネス電話の特性を知る)	講義・実習	1
9. Eメールのマナー・基礎 (Eメールの基本理解)	講義・実習	1
10. 模擬面接・基礎① (コミュニケーションスキル向上)	講義・実習	1
11. 模擬面接・個人・基礎② (コミュニケーションスキル向上)	講義・実習	1
12. 模擬面接・集団・基礎③ (コミュニケーションスキル向上)	講義・実習	1
13. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1

【評価方法】 出欠席、受講態度、実習(自己PR練習、敬語練習、電話応対練習、面接練習、等) 参画度

主要教材図書 「就職対策 第2024年度版」
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 机上の知識だけでなく、将来について(今後の自分自身のキャリア)を実習・実践を交えて学ぶことができる

記載者氏名 杉本直鴻

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)：中野 麗子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 ファッションを広く捉え、グローバルに活躍する人材から社会の現状やビジネスの難しさ、楽しさを学び、幅広い視野を持ちキャリアを積み上げていく柔軟な発想へつなげていくことを目標とする。

回数	内 容 ※順不同	回数	内 容
1	古着から見る好きとビジネス	15	写真の見方
2	チームビルディング 新規ビジネス①	16	セレクトショップ成長戦略
3	新規ビジネス②	17	アート思考を学ぶ
4	新規ビジネス③	18	婦人服企画業務
5	ファッションと IT の可能性	19	戦略的 PR
6	プレス・オフィシャルサイトの仕事	20	ADO ミュージアム見学
7	ショッパーデザイン		
8	海外セールの現状		
9	ブランド運営業務におけるディレクション		
10	ショップマネージャーの仕事	V	
11	ファッション EC 本社ツアー		
12	ファッションロー		
13	ファッションサステナブルプラットフォーム		
14	プロップスタイリング		

【評価方法】 P評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 【特徴】外部の方の講義、ディベートなど実習を伴い学習を高める 【教員】文化服装学院 専任講師

記載者氏名 中野 麗子

文化服装学院教務部

担当教員(代表)	共同担当者
小嶋洋子	川井先生・高橋先生

実際に通用することを大前提とした各自のファッションビジネスプランに取り組んでいく。そのための必要な事項をマーケティングデータを作り、調査し、分析していくことで、バリュー、ビジネスモデル、ターゲットの設定をして、ビジネスプランの基礎作りと仮説とその検証をしながら、自らのファッション観に基づく価値あるビジネスを学んでいく。

また伝えることの重要性を言語化、ビジュアライゼーションをもって策定。各自のプランで行うので、マンツーマンで指導を行う。

また実際に作ったり、売ってみたりといった実務も推奨し、実務家の方々に聞いていただくことで今からの仕事への下地と自信につなげていく。

テーマ(項目)	テーマ(達成ポイント)	制作物	方法	コマ数
説明・授業の理解	自律的に計画を立て進めていくことを理解する			2
興味分野の発見と調査	市場性 先進分野 脅威となる市場はなにか 自分の思いとは何か	振り返りシート	提出シートや調査内容のヒアリングをしながらマンツーマンで指導	4
調査進捗・データ整理	競合、ターゲットの反応			4
何を売るかの仮説の決定	競合調査	競合調査データ		4
ターゲットの研究	ターゲットの価値観、ショッピングの実態	ターゲット調査		3
ターゲットの研究	ペルソナの設定	ペルソナプロフィール		3
バリューの決定	どのような思いを伝えるのかを決める	競合調査データ		3
ビジネスモデルの決定	どうやって売るのか			2
前期最終確認	どんなあなたの考え方に基づいて(バリュー)、何を、誰にどうやって販売するのか	PPT		2
中間発表	PPTで言語化とデータやビジュアルで、ロジカルに説明		クラス内発表&フィードバックシート作成	2
バリュー、ターゲットに基づいた商品開発①	特徴(ユニークネス)を考え、ここにしかない商品やサービスをつくりだしていく	競合調査データ	提出シートや調査内容のヒアリングをしながらマンツーマンで指導	4
バリュー、ターゲットに基づいた商品開発②	上代、生産背景を計画した原価の設定			4
バリュー、ターゲットに基づいた商品開発③	商品のサンプルや品揃え、スタイリングの計画化			2
店舗の設定	具体的店舗や立地のイメージから物件の選定			1
立地の決定	具体的店舗や立地のイメージから物件の選定			1
販売方法の設定	ターゲット、商品、サービス、販売方法の再整理			1
ビジネスプランの仮説の提案	ターゲット、商品、サービス、販売方法の再整理			1
PPT・スピーチ原稿最終確認	ビジネスの仮説プランをロジカルに説明できるようにスピーチを組み立てながら、画面の調整を行う	PPT		4
発表	先生方、実務家の方々のリアルな評価を聞いて熱意を伝える		PPTによるプレゼンテーション	4

出席15%
授業態度/課題提出と取り組み度15%
計画性/調査力/分析力/アイデア/独創性/論理性/プレゼンテーション力(70%) で評価する

その他資料 基本的にテーマに応じたフォーマットを配布

担当者は企業内でブランド立ち上げやブランドのプランニング、またマーケティングの立場から多くのファッションビジネスプランに長年携わってきており、そのノウハウをマンツーマンで伝授し、多くの専門の先生方とつながていきたいと考えている。

ビジネスプランがバリューなしでは成立しないことと正確なマーケティングデータに裏打ちされていることをマンツーマンで指導。

また、具体的に販売をしてみるなどの活動を学科の各先生がバックアップする体制であり、自分のビジネスプランを実践できるものとなっている。

記載者氏名 小嶋洋子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	5単位
科目コード	科目名 長期インターンシップ	授業期間	集中

担当教員(代表)：高橋優	共同担当者：
--------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）

インターンシップ先を自己開拓し、ファッション流通業界でのプロフェッショナルな現場でリアルなビジネスマインドやスキルを学ぶ。
また、インターンシップで得た経験と評価を卒業課題や自身の将来に活かす。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

学習内容・方法

◆自己開拓をおこなったインターン先で実務をおこなう。(9月30日～11月1日実施予定)

【補足】

- ◇学校規定に合わせ、1日8時間×週5日 週40時間の実務を1単位の目安とする。
- ◇5週間のインターンシップ(計200時間)+レポート作成で単位取得となる。
- ◇インターンシップ開拓にあたり、インターンシップの意義や心構え、エントリーシート記載方法、評価方法などは他科目と連動し進める。

評価方法・対象・比重

出欠、企業評価、レポート制作、プレゼンテーション

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 高橋優

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA3	科 名 ファッション流通高度専門士科 3年	単 位	2 単位
科目コード RA31600460	科目名 グローバル・マネジメント I	授業期間	通期

担当教員(代表)：岡本真理子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

将来的にグローバルマネジメントを行うことを念頭におき、講義を通して、国内ビジネスだけではなく海外にも視野を広げること、そして常に情報収集する癖をつけることを到達目標とする。

授業概要としては、国内外のファッション業界における最新トピックスを織り交ぜながら、海外戦略を考えるために必要なことについて講義を行い、ブランドの海外戦略立案を最終課題とする。

【授業計画】

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
シラバス	講義	1	国内外の市場特性	講義	1
グローバルファッションビジネス	講義	1	小売ビジネス	講義	1
日本酒市場	講義	1	(ゲスト講師)世界で活躍するには	講義	1
課題発表	講義	1	グローバルマーケティング	講義	1
ファッションビジネストレンド	講義	1	ファッション関連 M&A 案件	講義	1
グローバルサプライチェーン	講義	1	海外進出戦略	講義	1
国内外の商習慣	講義	1	リサーチ・分析手法	講義	1
ファクトリーブランド	講義	1	課題発表	講義	1
課題発表	講義	1	テクノロジーとイノベーション	講義	1
ブランドビジネス	講義	1	決算報告書	講義	1
テキスタイル	講義	1	クロスカルチャーマネジメント	講義	1
SDG's	講義	1	課題発表	講義	1
課題発表	講義	1	まとめ	講義	1

【評価方法】 出席点と5つの課題の採点に加え、積極性や授業態度など加味して評価する

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 必要に応じて都度配布

授業の特徴と担当教員紹介

時事ネタを通して様々な側面からファッション業界の現状を伝えることで、視野を広げ、継続的に情報収集することの重要性を伝えていく。担当教員は国内アパレル企業と日本人デザイナーズブランドで幅広い実務を経験したのち、投資業界へ移ったことでファッション業界を外から俯瞰して見てきた。クリエイティブが重視されるブランドと数字で判断する投資家という2つの全く異なる立場でファッションビジネスを見てきた経験を生かし、学生の視野を広げるサポートをしていきたい。

記載者氏名 岡本真理子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード R L 3	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード 609400	科目名 プロモーション	授業期間	通年

担当教員(代表)：小野寺 学

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

実際の現場で実地実践を通して、プロモーションの本質 集客 周知 イベント企画 運用 マネジメント力を学ぶ。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

内 容

1. プロモーションの概要 (1コマ)
2. 街とプロモーション (4コマ)
実地体験
構成力 企画力について
ライティング デザインの基礎
3. イベント企画 (9コマ)
イベントを組み立てするにあたり
企画デザインの基礎プログラム
当日までの準備
当日の運用について
イベントのフィードバック
企画デザインの応用
イベント運用のまとめ

【評価方法】 演習発表の内容で成績評価

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料
なし

授業の特徴と担当教員紹介

企画制作会社を運営し様々な企業、地域のクリエイティブ制作、企画運営の実績をもとに、実際の現場で実地実践を通して、プロモーションの本質、集客、周知、イベント企画、運用、マネジメント力を学ぶ授業を実施。

記載者氏名 小野寺 学

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13054	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード 609700	科目名 ファッションマーチャンダイジングⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表)：大島隆之	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 アパレル小売業、卸業におけるファッションマーチャンダイジングの把握。
 ブランド設立についての計画立案から取り組みまでの基礎知識の習得と業務の理解。

【授業計画】＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、			
授業数	授業日	担当者	内容
01時限	05/10	大島	授業計画の説明 / ファッションマーチャンダイジングの意味と役割 -講義-
02時限	05/10	大島	授業計画の説明 / ファッションマーチャンダイジングの意味と役割 -講義-
03時限	05/17	大島	ファッションマーチャンダイジングの原理原則 -講義-
04時限	05/17	大島	ファッションマーチャンダイジングの原理原則 -講義-
05時限	05/24	大島	ファッションマーチャンダイジングの原理原則 -講義-
06時限	05/24	大島	ファッションマーチャンダイジングの原理原則 -講義-
07時限	09/05	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
08時限	09/05	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
09時限	09/12	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
10時限	09/12	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
11時限	09/19	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
12時限	09/19	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
13時限	09/26	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
14時限	09/26	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
15時限	11/14	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
16時限	11/14	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
17時限	11/21	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
18時限	11/21	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
19時限	11/28	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
20時限	11/28	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
21時限	12/05	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
22時限	12/05	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
23時限	12/12	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
24時限	12/12	大島	ファッションマーチャンダイジングの演習 -ゼミ形式
25時限	01/16	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -講義-
26時限	01/16	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -グループワーク/ゼミ形式-
27時限	01/23	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -発表提出-
28時限	01/23	大島	ブランディング戦略と事業運営の意味と役割 -発表提出-

評価方法・対象・比重
 課題提出物 60% / 出欠席 30% / 学習意欲 10%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッションブランドのブランディングについての計画立案から取り組み、店頭展開までの基礎知識の習得と業務の理解。

記載者氏名 大島隆之

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA3	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード 607100	科目名 貿易実務	授業期間	通年

担当教員(代表)：三浦 健	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

貿易の基本的流れを理解することを主たる目的とする。
実社会に出てから、役に立つ基礎知識レベルを目指す。

日本国内で展開販売しているアパレル製品は 現状、大半が、輸入製品です。
日本国内で生産している比率は非常に低いのが現実です。
輸入製品にも色々種類があります。
海外で生産された商品や、海外製品を、日本に持ち込むには
貿易という手段を使います。
この貿易の知識を理解することにより、実社会で働く時に、
非常に役に立ちます。
この貿易実務学科は、貿易の基本的な、流れ、知識を取得することを目標としております。

評価方法・対象・比重

出席数 重視 80% 試験20%（前後期）S～C・F評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 三浦 健

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA3	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位 1 単位
科目コード	科目名 アカウンティング	授業期間 ()

担当教員(代表)：高橋裕輔

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アカウンティングの目的と基礎知識を体系的に学びつつ、ファッションビジネスを行う上で必要なファイナンスを学ぶための財務会計の構造を損益計算書・貸借対照表・キャッシュフロー計算書を中心に、その関係性や事業との関わりと必要性を理解することが目標到達レベルとする。

【授業計画】

テーマ	方法	コマ
ビジネスにおけるアカウンティング	講義	1
計数管理～管理会計と財務会計～	講義	2
損益計算書の構造理解	講義	3
損益計算書の分析演習	個別学習	4
キャッシュフロー計算書の構造理解	講義	5
キャッシュフロー計算書の分析演習	個別学習	6
貸借対照表～資産の部～	講義	7
貸借対照表～負債の部～	講義	8
財務諸表の意義と分析	個別学習	9
財務分析ゲームの準備	アクティブ ラーニング	10
財務分析ゲームの準備	アクティブ ラーニング	11
財務分析ゲーム	アクティブ ラーニング	12
財務分析ゲーム	アクティブ ラーニング	13
ミニテストと MBP フィードバック	個別問答学習	14

【評価方法】

出席数・授業中の発言・授業への貢献度を中心に、学習到達レベルを確認するミニテストで評価する。

主要教材図書 なし

参考図書 特になし

その他資料 授業後に使用した資料を配布

授業の特徴と担当教員紹介

会計の専門家ではなく、あくまで「ビジネスデザイン」の世界におけるアカウンティングの「必要性」を軸に講義を行い、自ら「もっと知る」こと(＝生涯学習)への興味を持つことに重点を置く。また、アカウンティングの目的を「ビジネスデザイン」とすると、その先にあるファイナンスにおいて最も重要な「事業計画(＝自分のビジネス)を他者と共有し、資金調達や投資計画を実行すること」のトレーニングとして、発言はすべて自主発言のみを尊重し、積極的な授業参加を促す。

記載者氏名 高橋裕輔

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA3	科 名	ファッション流通高度専門士科3年	単 位	1単位
科目コード		科目名	グローバルプレゼンテーション	授業期間	半期

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

英語でのプレゼン発表に必要な基礎的な論理を学び、それを実践する場とする。加えて三年次後期に行われる海外研修においてプレゼンを行う事を最終目標とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course Description	演習	1
Presentation Structure	演習	1
Informative-style Presentation	演習	1
Persuasive-style Presentation	演習	1
Making Effective Slides	演習	1
Visualizing Textual Information	演習	1
Visualizing Quantitative Data	演習	1
Pronunciation Focus	演習	1
Telling Delivery	演習	1
Non-verbal Communication	演習	1
Q&A Session Strategies	演習	1
Rehearsal and Practice	演習	1
Final Presentation (1)	演習	1
Final Presentation (2)	演習	1

【評価方法】

学業評価(50%)、授業姿勢(50%)

授業の特徴と担当教員紹介

理論と実践をバランスよく学び、聞き手の注意を引く効果的なプレゼンができる手法を体験を通し身につける。

主要教材図書 JACET 関西支部教材開発研究会「Power Presentation」三修社

参考図書

その他資料 適宜プリントを配布する

記載者氏名 三村 典召

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択	授業期間	前期
	科目名 選択帽子（布帛）		

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA2	科 名	ファッション流通科2年/流通高度専門士科1～4年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	パソコンスキルb	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本 タク	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。
--

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
授業内容説明	通常授業をベースとした内容の説明	1
Illustrator での絵型制作	写真やイラストを使用しトレース技術を向上する	5
Tシャツデザイン	入稿を念頭においたデザイン方法の説明	3
バナー制作	Web 用画像の制作方法とデザインの説明	3
Illustrator のショートカット	より効率的にソフトを使用するために必要なキー操作の説明	1

【評価方法】 S～C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%
--

主要教材図書
参考図書
その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介 ・フリーランスグラフィックデザイナー 2019年独立。 アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	4 単位
科目コード	科目名 美学	授業期間	

担当教員(代表)：五野井郁夫	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今日アートとファッションは相互連関関係にあり現代美術への理解と評価は必須である。本講義では美学の基礎と現代美術、アート市場の操作を分析し、ファッション・ビジネスに不可欠な知識を会得することを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
美とは何か	講義	2	アート史9 ミニマリズム	講義演習	2
美的価値と芸術的価値	講義	2	アート史10 シミュレーションイズム	講義演習	2
美のカテゴリーとレパートリー	講義演習	2	アート史11 ポストモダニズム	講義演習	2
美と倫理、検閲	講義演習	2	アート史12 スーパーフラット以後	講義演習	2
美とジェンダー #Metoo 以降	講義演習	2	アート史13 写真史	講義演習	2
美と公共性、パブリックアート	講義演習	2	アート史14 映画史	講義演習	2
レイシズムと美の変遷 #BlackLivesMatter 以降	講義演習	2	アートワールドの現在	講義演習	2
アート史1 印象派、ラファエル前派	講義	2	国際美術展1：ヴェネツィアビエンナーレ	講義	2
アート史2 分離派、未来派、シュプレマティズム	講義	2	国際美術展2：ドクメンタ、ベルリン	講義	2
アート史3 ダダ	講義	2	国際美術展3：あいちトリエンナーレ2019	講義	2
アート史4 シュールレアリズム	講義	2	国際美術見本市：アート・バーゼル	講義	2
アート史5 バウハウス、モダニズム	講義	2	アート・マネジメントと商業芸術	講義演習	2
アート史6 アメリカの戦前アート、ホッパー等	講義	2	地域アートジェントリフィケーション	講義演習	2
アート史7 抽象表現主義、反芸術	講義	2	アートと敵対性、日常性	講義演習	2
アート史8 ポップアート	講義演習	2	全体のまとめと講評	講義演習	2

【評価方法】

毎回のプレゼンテーションと課題提出 100%

主要教材図書 山本浩貴『現代美術史』中公新書 2019、ロバート・ステッカー『分析美学入門』勁草書房 2013年、榎木野衣『シミュレーションイズム』ちくま学芸文庫 2001年

参考図書 西村清和『分析美学基本論文集』勁草書房 2015年、ハル・フォスター『第一ポップ時代』河出書房新社 2016年、クレア・ビショップ『人工地獄』フィルムアート社 2016年、蓮実重彦『映画への不実なる誘い』青土社 2020年

その他資料 あいちトリエンナーレ 情の時代の図録

授業の特徴と担当教員紹介 スライド、映像による解説、アトリエ式の学生参加型演習を行う。
現代美術家の藤井光やキュレーターの遠藤水城らとともにさまざまな作品や展示に関わりアサヒアートスクエア等でも講演を数多く行うとともに、ダムタイプなどの批評を美術批評を多数行っている。

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA3	科 名 ファッション流通高度専門士科	単 位	単位
科目コード	科目名 ヴィジュアルマーチャンダイジング	授業期間	

担当教員(代表) : VMS 株式会社 道仲 阿子	共同担当者 :
---------------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ヴィジュアルマーチャンダイジングの意義とその効果を理解し、リテールレイアウト計画能力のある人材の育成を目指す。

店頭管理の重要性を理解し、買いやすくメンテナンスしやすい、実践で使える売り場作りができる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
VMの基礎知識①VMの意義	講義/ワーク	2	ゾーニング②	講義/ワーク	2
VMの基礎知識②VMの目的・役割・責任	講義/ワーク	2	管理運営するディスプレイ①	講義/ワーク	2
VMの基礎知識③訴求力の高め方	講義/ワーク	2	管理運営するディスプレイ②	講義/ワーク	2
VMの基礎知識④質と量の関係	講義/ワーク	2	店舗診断①店舗の課題抽出	講義/ワーク	2
VMの基礎知識⑤訴求力の高いディスプレイ	講義/ワーク	2	店舗診断② 改善策を提案できる	講義/ワーク	2
導線の理解	講義/ワーク	2	マイビジネスプロジェクト出店計画	講義/ワーク	2
ゾーニング①	講義/ワーク	2	1年のまとめ/期末試験	講義/ワーク	2

【評価方法】課題評価50% 期末試験40% 授業姿勢10%

主要教材図書 VMS トレーニングキット
参考図書
その他資料

授業の特徴

ブランドやMD戦略に合わせてマーケティングの観点を理解した上で、店舗ゾーニング、ディスプレイの手法や役割を理解し、運営する店舗を計画から実行まで検証し、体系的に考えられる「小売業」にアプローチできる人材を育成する。

担当教員紹介

大手アパレル店長を経て、ヴィジュアルマーチャンダイジングを担当、その後VMコンサルティング会社、Visual merchandising studio 株式会社に入社、有名ブランドのヴィジュアルマーチャンダイジングの指導を行っている。

記載者氏名 VMS 道仲 阿子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA3	科 名 ファッション流通高度専門士3年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 デジタル PR 演習	授業期間	(上半期)

担当教員(代表)： 高橋優	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

TikTok、Instagram、YouTubeなどを活用したファッションPRを中心にEC戦略の立案を目標とする。
SNSを利用した個人スキル、グループワーク力の向上を目指します。

【授業計画】

- 1.ビジネスモデルの確立とP/L計画の立案 講義・演習 1コマ
 - 2.特別講師招いてのマーケティング基礎 講義 1コマ
 - 3.特別講師招いてのSNS PR 基礎講義・演習 1コマ
 - 4.実践型のプレゼン提案 講義・演習 4コマ
 - 5.現代のインフルエンサーについて 講義・演習 1コマ
 - 6.SNSを活用したリサーチについて 講義・演習 1コマ
 - 7.発表資料まとめ 講義・演習 4コマ
 - 8.Instagram 広告などの各数字面について講義・演習 2コマ
- 計 15 コマ

【評価方法】

出席 3 割、試験 7 割

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 PDFなどで配布し講義などで理解を深める。

授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】

ファッションのSNSマーケティング経験者が教える実践的スキルの取得できる講義

【担当教員紹介】

2012 年 バンタンデザイン卒。フォトグラファーを経て、国内アパレルメーカーにて、MD、SNS マーケ中心に 10 年間勤務

記載者氏名 石川雄一朗

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科 3 年	単 位	各 1 単位
科目コード	科目名	オーラルトレーニング e/f (自由選択)	授業期間	集中

担当教員(代表)：高橋 優

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

第二外国語学習に対する単位認定。20 時間以上の学習を以って 1 単位の認定とする。
各自のレベルに合わせた学習を集中・継続して行うことにより、発音や表現の向上を目指す。

【授業計画】

- ・単位語学留学 g/h 各 1 単位取得。
- ・1 単位当たり 47 回（1 回 25 分）の学習をもって 1 単位の認定とする。
- ・学生自身が自身のレベルに合わせた留学先を探し、申し込みをする。または学校が契約をしているオンライン英会話学習 教材を申し込む。
- ・レベルに合わせた目標を設定し、実習を行う。
- ・学修先の受講証明書を発行し、提出をする。
- ・上記証明書と共に成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。

【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 高橋 優

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科3年	単 位	1～2単位
科目コード	科目名	インターンシップ c/d (自由選択)	授業期間	集中

担当教員(代表)：高橋 優	共同担当者：
---------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>社会に出てからのキャリア向上に向けた実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。</p>

<p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ e/f 各1単位取得 ・主に就職内定先や、各自のキャリア向上のために学生自身がインターンシップ先を開拓する。 ・インターンシップ先の業務内容と各自のキャリア設計に合わせた目標を設定し、実習を行う。 ・インターンシップ先の指導責任者の方にフィードバックをいただく。 ・研修中のレポートは定期的に点検を行い、終了後は成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。
--

<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、実習内容のフィードバック、レポートと成果報告書を基に評価を行う。</p>
--

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名	高橋 優
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 コラボレーション e/f (自由選択)	授業期間	集中

担当教員(代表)：高橋優	共同担当者：川井佐江子 佐草勇樹 高橋優
--------------	----------------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

リサーチから企画立案、発表を通し、共感と呼ぶ価値の創造とコミュニケーションを学ぶ。また企業とのコラボレーションによる実践的学びと実務家からの評価いただくことで、業界におけるビジネスの現状を知る。グループワークを行うことで、コミュニケーション力やリーダーシップ、チームビルディングを体験する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

回数	テーマ	学習内容・方法
1	コラボレーション概要説明	講義
2	市場調査	演習
3	ディスカッション	講義・演習
4	企画立案①	講義・演習
5	企画立案②	講義・演習
6	中間報告・フィードバック	講義
7	企画立案修正	講義・演習
8	イベント準備①	講義・演習
9	イベント準備①	講義・演習
10	イベント準備①	講義・演習
11	コラボレーション実施①	演習
12	コラボレーション実施②	演習
13	コラボレーション実施③	演習
14	まとめ・振り返り	講義

評価方法・対象・比重

出欠、課題、グループワーク、発表

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 高橋優

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 3 年	単 位	3 単位
科目コード	科目名 Business English I	授業期間	通年

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

この授業では基本的な英語を復習し、そのうえでビジネスシーンを想定した適切なコミュニケーション方法を扱う。主に e-mail でのやり取りを想定し、カジュアル、セミフォーマル、フォーマルの 3 種類に対応したライティングができるようになることを目標とする。レベルは中～準中級を想定している。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Orientation	演習	1	Making Invitations	演習	2
Placement test	演習	1	Making Appointments	演習	2
Introducing Yourself	演習	2	インターンシップ報告	演習	1
Introducing Companies	演習	2	Making Appointments	演習	2
Explaining Your Role	演習	2	Cancelling and Rescheduling	演習	1
Introducing Products	演習	2	Describing Locations	演習	2
Checking Information	演習	2	Looking after a Visitor	演習	1
Giving Your Opinion	演習	2	海外の文化について	演習	1
Making Requests	演習	2	Making a Phone call	演習	2
Asking Permission	演習	2	Taking Messages	演習	2
まとめ	演習	1	まとめ	演習	1
中間試験	演習	1	期末試験	演習	1
海外生活について	演習	1	一年間のフィードバック	演習	1

【評価方法】 平常点（出席、クラス参加）30%、中間試験 30%、ライティング 10%、期末試験 30%で S～C・F 評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

学生はアルバイトで外国人観光客と接する機会も多いため、ジェネラルな接客英語や日常会話の発話練習も取り入れる。

主要教材図書	Go Global (成美堂)
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名 増田和香子

2024年度カリキュラム科目概要				文化服装学院教務部	
科名コード	科 名		ファッション流通高度専門士科 3 年	単 位	3単位
			ビジネス英語 II	位	
	科目名		Business English I	授業期間	通年
担当教員（代表）	： 和泉 ケイリーン		共同担当者		
{ 授業概要、到達目標・レベル設 }					
Obtain Knowledge of basic Business English. Be able to understand the differences between casual and business English. Understand and use a range of phrases appropriate for tuse in a business environment					
の関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先					
テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Fashion History	演習	2	Unit 24 - Internship 2	演習	1
Unit 2					
Unit 3 - Opinions 1	演習	2	Unit 25 -Trends	演習	2
Unit 4 - Phone calls/Email/Small Talk					
Unit 5 - Sales Language 1 & 2	演習	2	Unit 26 - E-commerce 1		
Unit 6			Unit 27 - Occupations & Tasks	演習	2
Unit 7 - Presenting 1 & 2	演習	2	Unit 28 - Handling Problems & Complaints		
Unit 8			Unit 29 - Review Lesson 2	演習	1
Promotion/Merchandising	演習	2	Unit 30 - Business trips Abroad	演習	2
Unit 10			Unit 31 - Directions		
Unit 11 - Sales Language	演習	2	Unit 32 - Fashion Show	演習	1
Unit 12			Unit 33 - Opinions 2 - Negotiating	演習	2
Unit 13 - Interview 1	演習	1	Unit 34 - Sustainability		
Unit 14 Review Lesson	演習	2	Unit 35 - My Business Plan	演習	1
Unit 15 -			Unit 36 - Textiles	演習	2
Unit 16 - Asking about fabric	演習	1	Unit 37 - Innovative Thinking		
Unit 17 - Marketing Strategies	演習	2	Unit 38 - Retail 2 - Profit & Loss	演習	2
Unit 18 - Target Markets	演習	1	Unit 39 - Review Lesson 3 (Test) -		
Unit 19 - Brand Case Study	演習	2	Case Study 2		
Unit 20 - Instructions					
Unit 21 - Retail 1	演習	1			
Unit 22 - Casual vs Business	演習	2			
Unit 23 - Internship					
{ 評価方法 } Summary Test 1 (10%), Summary test 2 (10%), Short Report (5%), Attendance (39%), Case Study Report (16%), Google Classroom Weekly Questions (20%)					
図書教材 Main teaching materials created by Caroline McCurdy					
参考図書					
その他資料					
授業の特徴と担当教員紹介					
記載者氏名：Keilene Izumi					

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 3 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 キャリアディベロップメントⅡ	授業期間	前期

担当教員(代表)：梶原 麻未	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

・卒業後のイメージを具体化し、現在の社会で必要な自分軸を持ち、主体的に行動できる能力、情報活用能力、将来設計能力を身につける。レベル設定としては自己分析・職業理解を深め、自分軸の自己理解、マイロードマップを完成させる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
キャリアについて/他己紹介	講義・実習	1
就職活動スケジュール/25 年卒インターン定義の変更について	講義	1
職業興味について/職業興味視点からの自己分析	講義・実習	2
自分軸について/自己分析（経験の棚卸）/経験代謝	講義・実習	1
自己分析（ライフラインチャート）グループワーク	講義・実習	2
自己分析（自分の強みについての深堀）	講義・実習	1
職業興味と自分の強みの活かし方/マズローの心理	講義・実習	1
自分軸、強みからキャリア構築を考える/マイロードマップ作成	講義・実習	1
インターン先での就業について/目的・習得について考える	講義・実習	1
インターン発表	講義・実習	2

【評価方法】

・出席30% 学業評価 40%、授業姿勢 30%

主要教材図書 無し(プリント・資料配布)
参考図書 キャリアコンサルタント育成講座資料/絶対内定 2023/キャリアデザイン入門～理論と実践～(赤堀勝彦著) /セルフキャリアドッグ入門(高橋浩、増井一著) など
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】

アパレル業界特化の人材会社 iDA 所属、国家資格キャリアコンサルタントによる実践的なキャリア構築及び能力開発。現代社会で活躍できる主体的に学び行動力のある人材育成・輩出を目指し、ワークを中心に自己成長を促す。

【担当教員紹介】

人材会社にて法人営業、求職者面談及び採用面接を約 10 年経験。現在は、採用キャリアを活かして新卒サイト運営に携わりジュエリー販売経験と人材キャリアを掛け合わせたリアルな就活セミナーを含むキャリア開発セミナーを実施。

記載者氏名 梶原麻未

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：高橋優	共同担当者：
--------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）

ファッションを広く捉え、グローバルに活躍する人材から社会の現状やビジネスの難しさ、楽しさを学び、幅広い視野を持ち、キャリアを積み上げていく柔軟な発想へつなげていくことを目標とし、マイビジネスプロジェクトのヒントをつかむ。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

回数	テーマ	学習内容・方法
2	古着業界から見る「好きとビジネス」	古着屋オーナーによるトークセッション方式
4	新規ビジネス提案① チームビルディング	チームビルディングを実施し、お題に対して現状の問題点を洗い出し、現地調査に備える
4	新規ビジネス提案②	現地に出向き、現状をリサーチする
2	新規ビジネス提案③	チームで情報共有し、新規ビジネス提案にまとめる
1	ファッションとITの可能性	Ai やメタバース、デバイスなど最新傾向
2	長期インターンシップの重要性	企業選びとインターンまでの流れについて
1	新規事業の立ち上げについて（ファッションブランド）	アパレルブランドの事業立ち上げまでの流れを理解
2	シーズン MD とキャンペーンの関係性	企業訪問し、商品や VMD を見ながら受講
1	新規事業の立ち上げについて（サービス事業）	サービス事業の立ち上げまでの流れを理解
2	サンフランシスコの現状	Academy of Art University 講師によるオンライン授業
4	カルチャーエクステンジについて	市場調査を通じ、日本文化を再発見する
2	カメラワーク【基礎】	スマホ／一眼レフカメラを使い、 ヴィジュアルクリエイションに活用する
1	広告代理店におけるメゾンブランドの広報活動について	企業の最新事例を交え、手法や効果を理解する

評価方法・対象・比重

出欠、課題、グループワーク、発表

主要教材図書

記載者氏名 高橋優

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	集中

担当教員(代表)：高橋優	共同担当者：
--------------	--------

<p>概要（教育目標・レベル設定など200字程度）</p> <p>海外のビジネスの現場に赴き、グローバルビジネスの現状を学ぶ。 また現地の美術館やマーケットの見学を通して多様な価値観と異文化への理解を深め、視野を広げる。 （3泊5日予定）</p>

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

テーマ	目的	学習内容・方法
ファッション企業視察	<p>◇グローバルファッションビジネスの現状を知る</p> <p>◇知見を広げ、自身が進めているマイビジネスプロジェクトに活かす</p> <p>◇地域やマーケットの特色を活かしたファッション産業を理解する</p>	視察前に事前に企業研究を実施
カルチャーエクステンジ	<p>◇海外のファッション／アート大学と連携し、日本と海外のカルチャーや価値観をディスカッションし相互理解する力を養う</p> <p>◇自身が習得した英語力やプレゼン力、ヴィジュアルクリエーション力を発揮する</p>	事前に日本のカルチャーをレポートにまとめる
マーケットリサーチ 美術館鑑賞	<p>◇マーケットリサーチを通しマーケティングやプロモーション、接客方法、VMD など様々な視点から共通点、差異点を発見する力を養う</p> <p>◇海外市場における消費者の”ファッション”の価値観を体感する</p> <p>◇美術館鑑賞を通し、感性を養う</p>	事前にネットリサーチを実施

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出欠、課題、グループワーク、発表</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名 高橋優

2024年度　カリキュラム科目概要				文化服装学院教務部		
科コード	RA 4	科名	ファッション流通高度専門士科　4年		単位	6
科目コード	RA 4 1 6 0 0 4 0 6	科目名	マイビジネスプロジェクトⅡ		授業期間	通年
担当教員(代表)			共同担当者			
小嶋洋子			川井先生・高橋先生			
【授業概要、到達目標・レベル設定】						
実際に適用することを大前提とした各自のファッションビジネスプランを作成し、プレゼンテーションする。バリュー、商品、展開、利益というビジネスプランの中にあるターゲットと自分の情熱の接点を、それぞれのフォーマットや今まで他の授業等で培ってきた幅広い学習内容や先生方のアドバイスを基に総合的に展開していく。 また伝えることの重要性を言語化、ビジュアライゼーション、計数計画をもって策定。各自のプランで行うので、マンツーマンで指導を行う。 また実際に作ったり、売ってみたりといった実務も推奨し、実務家の方々に聞いていただくことで今からの仕事への下地と自信としてもらう。						
【授業計画】　テーマ(大中小項目)、方法(講義・演習・リサーチ・グループ活動など)、制作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先						
テーマ(項目)	テーマ(達成ポイント)		制作物	方法		コマ数
達成目標及びマイルストーン設定と進行方法の説明と各自スケジュール作成	やるべきこととその方法の把握		項目チェック表 スケジュール表	講義＋課題提出のうえでのマンツーマン指導		2
基本商品のカテゴリーの設定と各カテゴリーの品揃え	集めるべきデータの具体的提示		PPT落とし込み	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		2
カテゴリー別VMD展開とシーズン展開を考える	自分の考えているプランの売り上げ想定による事業規模の把握		エクセルでの試算作成	講義＋課題提出のうえでのマンツーマン指導		3
商品の上代、下代の設定⇒売り上げ想定と計画仮説のすり合わせをして現実的なものにしていく	投資内容と売り上げとバリュー、ニーズのバランスを考える		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	講義＋課題提出のうえでのマンツーマン指導		2
商材に伴うVMD・販売方法の特徴の考え方	接客の在り方から販売とVMDの設定 店舗レイアウト EC画面等のコンテンツとレイアウト		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		6
売り上げ想定をしていく	上記プランで度のように打っていくのかを想定して、売上目標値を設定する		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		4
商材に伴うSPの特徴の考え方(SP戦略との連動)	商材とターゲットの特性を生かした情報の在り方をカスタマージャーニーから考える		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		4
年間の平均上代、下代、買い上げ単価、買い上げ点数、買上げ客数を設定する	基本的な店舗の数値を設定して、売上が取れる数値を把握する また、利益が取れるプランに変更を加えていく		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		2
MD戦略整理	商品の売り方とSP、接客とのつながりを検討する 顧客とどうつながって商品を提供していくのかを考える		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		6
店舗出店戦略整理	ターゲット、競合をふまえた店舗の在り方を再度検証する		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		4
SP戦略整理	SPによる売り上げと各プランのブラッシュアップと年間計画、デビュー前計画、数年単位の計画を考える		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		4
利益の出し方の整理	各プランの数値の落とし込みと売り上げの落とし込みで利益を考えてみる。 計数計画の中で単年、複数年の発想を持つ		エクセルでの試算作成	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		5
クラス内発表	基本プランの発表		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	プレゼンテーションと他者評価による学び		4
プラン完成+不足プラン追加	各自の問題となっている個所のブラッシュアップ		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		4
プラン完成+スピーチ確認	プレゼンテーションとしてのツールとしての見やすさ、分かりやすさ、ロジック、表現力の検証		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		4
プレゼンテーションリハーサル	提案を聞いてもらえる工夫の検証		調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサジェスチョン		6
発表	先生方、実務家の方々のリアルな評価を聞いて熱意を伝える			PPTによるプレゼンテーション		4
フィードバック	先生方、実務家の方々のリアルな評価を聞き、仕事に生かす方法を検証する		フィードバックシート	全員での検証		4
【評価方法】						
出席15％ 授業態度/課題提出と取り組み度15％ 計画性/調査力/分析力/アイデア/独創性/論理性/プレゼンテーション力(70％)　　　　　で評価する						
主要教材図書　　適宜テーマに応じて紹介およびプリント配布およびクラスルームにてデータ配布						
参考図書　　適宜テーマに応じて紹介						
その他資料　　基本的にテーマに応じたフォーマットを配布						
授業の特徴と担当教員紹介						
担当者は企業内でブランド立ち上げやブランドのプランニング、またマーケティングの立場から多くのファッションビジネスプランに長年携わってきており、そのノウハウをマンツーマンで伝授し、多くの専門の先生方とつながっていきたくと考えている。 また、具体的に販売をしてみるなどの活動を学科の各先生がバックアップする体制であり、自分のビジネスプランを実践できるものとなっている。						
記載者氏名　　小嶋洋子						

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	単位
科目コード	科目名 グローバルマネジメントⅡ	授業期間	()

担当教員(代表)：丹羽一友	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

グローバルに活躍するファッションディレクターや総合職、バイヤー、エディター、プレス、ねっと活用などによる新たなビジネス提案や企業を目指す人材育成に必要な実践的知識及びマーチャンダイジングの意味と調達方法などを具体的に理解する

【授業計画】前期(各1コマ)

- ① 国内小売業について
国内の顧客との接点である小売業の種類、詳細を理解する
- ② EC とリアル店舗の連動について
EC とリアル店舗では別々の販売手法ではなく連動していることを理解する
- ③ 販売計画：SPA 編
SPA における販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する
- ④ 商品企画：SPA 編
SPA における商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する
- ⑤ 販売計画：アパレル(卸売業態)編
卸アパレルにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する
- ⑥ 商品企画：アパレル(卸売業態)編
卸アパレルにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する
- ⑦ 販売計画：アパレル(OEM)編
OEM アパレルにおける販売計画作成の仕方、商品の調達方法などを理解する
- ⑧ 商品企画：アパレル(OEM)編
OEM アパレルにおける商品企画から生産指示まで具体的な業務を理解する
- ⑨ マーチャンダイジング生産依頼について
具体的に OEM アパレルに生産依頼を行う際の方法などを具体的に理解する
- ⑩ 販売促進計画について
お客様に「買っていただく」きっかけになる「販売促進」の意味、方法、時期などを理解する
- ⑪ ファッションマーチャンダイジング
ファッション業界のマーチャンダイジングとヴィジュアルマーチャンダイジングについて理解する
- ⑫ 販売計画、仕入れ計画、利益計画策定のための仮想店舗設定(グループワーク)
売上、コスト、利益の計画の作成方法を理解するための仮想店舗を策定
- ⑬ 販売計画、仕入れ計画、利益計画について(グループワーク)
店舗での具体的な売上、コスト、利益の計画の作成方法を理解する
- ⑭ 販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定(グループワーク)
販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定
- ⑮ 販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定(グループワーク)
販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定
- ⑯ 販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定(グループワーク)
販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定
- ⑰ 販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定(グループワーク)
販売計画、仕入れ計画、利益計画の策定
- ⑱ 販売計画、仕入れ計画、利益計画の発表(グループワーク)
立案した計画の整合性を含めた確認を行う
- ⑲ マーチャンダイジング及びプロモーション(グループワーク)
販売計画、仕入れ計画、利益計画をもとに具体的に商品のマーチャンダイジングの組み立て方法を理解する
- ⑳ マーチャンダイジング実施(グループワーク)
商品企画の実施
- ㉑ マーチャンダイジング実施(グループワーク)
商品企画の実施
- ㉒ マーチャンダイジング実施(グループワーク)
商品企画の実施
- ㉓ マーチャンダイジング実施(グループワーク)
商品企画の実施
- ㉔ マーチャンダイジング実施(グループワーク)
商品企画の実施

- ⑳ マーチャンダイジング発表（グループワーク）
実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーション
- ㉑ マーチャンダイジング発表（グループワーク）
実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーション

【評価方法】

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 丹羽一友

文化服装学院教務部

担当教員(代表)	共同担当者
小嶋洋子	

各自のファッションビジネスプランを作成し、プレゼンテーションする【マイビジネスプロジェクトⅡ】の中でプランニングするセールスプロモーション戦略を、KPI数値化→ターゲットの接点を探るカスタマージャーニーでの接点の発見、接点の不具合の発見→バリューを最大限に発揮できる媒体の研究などから、ビジネスプランに応じたセールスプロモーションプランを考える。これを年度に落とし込み、目的を達成するプロモーションを具体的にプランニングしていく。それをマイビジネスプロジェクトに取り入れる。目的を明確にするには数字で考えることが必須であるので、数値と感覚とマーケティングを総合的に考えることが重要である。各自のプランで行うので、マンツーマンで指導を行う。

テーマ(項目)	テーマ(達成ポイント)	制作物	方法	コマ数
基本的計数の理解と使い方をマスターする①	やるべき項目、スケジュール感の把握	項目チェック表 スケジュール表	講義＋課題提出のうえでのマン ツーマン指導	1
ペルソナのバックデータを再考する	マーケティングデータをプランに生かす イメージだけではビジネスにならない。背景の大切 さ	調査データ	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	1
ターゲットの情報収集方法をまとめる	SNSの分析等を行い、ターゲットの研究を客観的デー タにまとめる	調査データ	講義＋課題提出のうえでのマン ツーマン指導	1
カスタマージャーニーを作る	ターゲットとの接点はどこになるかは発見する 接触媒体を研究する	フォーマットにて制作	講義＋課題提出のうえでのマン ツーマン指導	2
カスタマージャーニーからのプラン	何をポイントにどう言った設定をしていくかを考える	フォーマットにて制作	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	4
プランの数値化 SPでやるべき目的の明確化	具体的に達成すべき目標を明確にする	数字フォーマットにて制作	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	4
自プランのSPの考え方をまとめる	年間を通した達成点を明確にして、各プランの目的を 明確にする	調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	3
自プランのSPのスケジュールと目標値を考える	年間で考えるぶらんぶくりと 単年、中長期計画を考える	調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	3
設定した各プランを具体的に立案する	各プランを実行プランにしてい	調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	3
経費、達成効果等を考えて全体プランをまとめる	実行プラン、数値プラン、ビジュアルの訴求力を持つ	調査データ整理 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	3
具体的ツールのデザインや実践	主力となる具体的ツールのデザインや事例を提示する	具体的ツールデザイン PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	2
プレゼンテーション	PPT、スピーチでちゃんと説得力を持っているかを考 える	スピーチ原稿 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	マンツーマンでの課題確認とサ ジェスチョン	1
発表	先生方、実務家の方々のリアルな評価を聞いて熱意を 伝える	スピーチ原稿 PPT落とし込み 言語化×ビジュアル	PPTによるプレゼンテーション	1
フィードバック	先生方、実務家の方々のリアルな評価を聞き、仕事に 生かす方法を検証する	フィードバックシート	全員での検証	1

出席15%	
授業態度/課題提出と取り組み度15%	
計画性/調査力/分析力/アイデア/独創性/論理性/プレゼンテーション力(70%)	で評価する
主要教材図書	適宜テーマに応じて紹介およびプリント配布およびクラスルームにてデータ配布
参考図書	適宜テーマに応じて紹介
その他資料	基本的にテーマに応じたフォーマットを配布

担当者は企業内でブランド立ち上げやブランドのブランニング、またマーケティングの立場から多くのファッションビジネスプランに長年携わってきており、そのノウハウをマンツーマンで伝授し、多くの専門の先生方とつながっていきたくと考えている。

また、具体的に販売をしてみるなどの活動を学科の各先生がバックアップする体制であり、自分のビジネスプランを実践できるものとなっている。

記載者氏名 小嶋洋子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA4	科 名	ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード	609700	科目名	マーチャンダイジング戦略	授業期間	(通期)

担当教員(代表) : 勝又 淳司	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マイビジネスプロジェクト立案に際し長期的な MD 戦略から、MD 面の戦術までの立案を目標とする。
作成した課題が、企業の新規事業計画として使用出来るレベルを目指す。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

各自が立案するマイビジネスプロジェクトについて、ファッション流通高度専門士科3年生でコンセプト・誰に・何をという基礎的な事項を立案したのち、4年次に個別のマーチャンダイジングに関する戦略を立案します。

1. ビジネスモデルの確立とP/L計画の立案	講義・演習	5コマ
2. 売上構成および在庫推移計画の立案	講義・演習	2コマ
3. マーチャンダイジングに伴う資金計画	講義・演習	4コマ
4. 商品計画 月別展開計画の立案	講義・演習	3コマ
5. 個別MD計画(商品・PR・VMD)の立案	講義・演習	10コマ
6. 20~30年スパンで考える、長期経営計画の立案	講義・演習	1コマ
7. 発表資料まとめ	講義・演習	3コマ
		計28コマ

【評価方法】 出席2割・課題5割・試験3割

主要教材図書 無し

参考図書 無し

その他資料 プリントを配布し、講義内容の補足をするとともに関連する計数の問題を解き、理解を深める。

授業の特徴と担当教員紹介

【特徴】

マーチャンダイザー経験者の教員より、実務で活用できる考え方や知識をレクチャー

【担当教員紹介】

2006 年 文化服装学院卒。国内スポーツアパレルメーカーでの MD、営業、文化服学院での専任教員を経て日本女子大学 専任講師。修士(学位：政策)、TES(繊維繊維製品品質管理士)。
環境経済学の理論を元に繊維産業の需給バランスを適正化する研究を行っている。

記載者氏名 勝又 淳司

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA4	科 名 ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード 609800	科目名 商品プロダクト戦略	授業期間	前後期

担当教員：加藤紀人	共同担当者：
-----------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の業務の内、生産実務についての理解を深める。アパレル製品の仕様や縫い目、副資材などの細部に至る品質を見極め、商品企画内容を生産に反映させるための基礎力をつける。

生産依頼をする際の帳票の内容を理解し、作成ができるレベルを目指す。

【授業計画】

- I. ガイダンス (1)
- II. 生産担当者の位置づけ (1)
 - ①既製品の生産プロセス
- III. 生産実務の概要 (1)
 - ①生産担当者の役割と実務の手順
- IV. 生産前の準備と管理 (4)
 - ①生産対象品の把握
 - ②加工情報
- V. 生産実行と管理 (2)
 - ①縫製工場
 - ②取引契約
- VI. 生産の後処理 (1)
 - ①原価計算
- VII. 品質と検査 (1)
 - ①品質基準
- VIII. 縫製仕様の基礎知識 (3)
 - ①シャツの縫製仕様
 - ②カットソーの縫製仕様
 - ③パンツの縫製仕様
 - ④ジャケットの縫製仕様
- IX. 今後のアパレル生産 考察 (1)

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 学業評価 50%、 授業姿勢 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料 私製プリント

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル生産の実務内容と製品の基礎知識について学ぶ。 文化服装学院 専任講師が担当。

記載者氏名 加藤紀人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA4	科 名 ファッション流通高度専門士科4年	単 位	2単位
科目コード	科目名 デジタルマーケティング	授業期間	()

担当教員(代表)：川井佐江子	共同担当者：城・山田・幸村
----------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

到達目標：企業のWEB担当者になるための基礎を身につける

授業概要：上期：MBPのSNS運用に関わるデジタルマーケティング・各自アカウントを作成し運用する

下期：LP作成や広告運用、WEB解析などのデジタルマーケティング全般を学び、MBPへ生かす

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●大テーマ

マーケティング総論・デザインシンキング・デザイン作成・マーケティング各論・クリエイティブ作成

●中テーマ

近年のデジタルMK動向

ブランディングとマーケティング

D2Cとクラウドファンディング

顧客志向のマーケティング

LPデザイン作成

キャンペーン運用

クリエイティブ作成(写真・動画)

広告運用

WEBアナリティクス

●特別講義

アパレル系若手WEB担当者

アパレルディレクター(20代)

【評価方法】

期末試験 30% 中間試験 10% 出席点 50% 特別加点(SNS投稿数・クオリティ) 10%

主要教材図書

参考図書

[「やりたいこと」からパッと引ける Google アナリティクス 分析・改善のすべてがわかる本](#)

[たった一人の分析から事業は成長する 実践 顧客起点マーケティング \(MarkeZine BOOKS\)](#)

[ブランディングの科学 誰も知らないマーケティングの法則 11](#)

[ブランディング 7つの原則【改訂版】 成長企業の世界標準ノウハウ \(日本経済新聞出版\)](#)

UX グロースモデル アフターデジタルを生き抜く実践方法論

『ノンデザイナーズ・デザインブック [第4版]』+『ノンデザイナーでも役立つ図解の基本』

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 城 陽太

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA4	科 名 ファッション流通高度専門士科	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッションロー	授業期間	

担当教員(代表)：近藤 泰祐	共同担当者：金井倫之、海老澤美幸、中内康裕
----------------	-----------------------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>ファッションビジネスに関連する法律について知的財産制度を中心に概略を紹介する。将来ファッションビジネスに携わる際の法的問題に“気づき”を得、自身の MBP にその気づきを反映できることを目標とする。</p>

<p>【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

テーマ	方法	コマ数
ファッションローとは、MBP ショートプレゼン	講義	1
ファッションロー ファッションに関する事件の紹介	講義	1
知的財産制度の紹介、商標・意匠制度	講義	1
ビジネスとファッションロー	講義	1
契約書と契約交渉	演習	1
著作権	講義	1
契約とファッションビジネスに関連する様々な法律	講義	1
ファッションローのケーススタディ	演習	1
MBP における新しい価値創造と知的財産	講義	1
MBP における価値創造メカニズム	講義	1
MBP をファッションローで磨き上げる	演習	1
ファッションローの観点を反映した MBP 発表とフィードバック	演習	2

<p>【評価方法】</p> <p>S～C・F評価 学業（成果物・プレゼン評価）80% 授業姿勢（出席、授業態度）20%</p>

主要教材図書
参考図書
その他資料

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>「ファッション×法律」ファッションビジネスに関連のある法律を知的財産法を中心に学び、MBP にも反映する。</p> <p>海老澤美幸（弁護士）、金井倫之（弁理士・ニューヨーク州弁護士）、中内康裕（弁護士）、近藤泰祐（MBA・知的財産研究教育財団事業部長）</p>
--

記載者氏名 近藤泰祐

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA4	科 名	ファッション流通高度専門士科	4 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	ファイナンス		授業期間	前期

担当教員(代表)：高橋 裕輔

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファイナンスの目的と基礎知識を体系的に学びつつ、ファッションビジネスを行う上で必要な事業計画を、仲間やステークホルダーと共有するために必要な「コミュニケーション」ができるスキルも同時に磨くことで、資金調達を実践レベルで創造することができるレベルへの到達を目標とする。

【授業計画】

テーマ	方法	コマ
ビジネスにおけるファイナンス	講義	1
デッドファイナンスと財務諸表	講義	2
エクイティファイナンスと財務諸表①	講義	3
エクイティファイナンスと財務諸表②	講義	4
様々な資金調達方法	講義	5
ビジネスプランと MVV	講義	6
MBP と投資計画	個別学習	7
MBP と数値計画	個別学習	8
資金調達交渉ゲーム 準備	アクティブ ラーニング	9
資金調達交渉ゲーム 準備	アクティブ ラーニング	10
資金調達交渉ゲーム	アクティブ ラーニング	11
資金調達交渉ゲーム 振り返り	アクティブ ラーニング	12
ミニテストと MBP のフィードバック	個別問答学習	13

【評価方法】

出席数・授業中の発言・授業への貢献度を中心に、学習到達レベルを確認するミニテストで評価する。

主要教材図書 なし

参考図書 特になし

その他資料 授業後に使用した資料を配布

授業の特徴と担当教員紹介

ファイナンスの専門家ではなく、あくまで「ビジネスデザイン」の世界におけるファイナンスの実務的な役割を軸に講義を行い、自ら「もっと知る」こと(＝生涯学習)への興味を持つことに重点を置く。またビジネスパーソンとしてのファイナンスにおいて最も重要なことは「事業計画(＝自分のビジネス)を他者と共有し、資金調達や投資計画を実行すること」にあると捉え、発言はすべて自主発言のみを尊重し、積極的な授業参加を促す。実務家としての目線をベースに、「理論と現実」の俯瞰的な学習ができる授業を行う。

記載者氏名 高橋 裕輔

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

概要

ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

評価方法・対象・比重

提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%

主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント

授業の特徴と担当教員紹介

ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択	授業期間	前期
	科目名 選択帽子（布帛）		

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

科コード	RA2	科 名	ファッション流通科2年/流通高度専門士科1～4年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	パソコンスキル b	授業期間	前後期

担当教員(代表)：山本 タク	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

通常授業を応用した、より効率的なソフトの使用方法和現場向きのデザイン方法を学ぶ。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

[illegible]

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

主要教材圖書

参考図書

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA4	科 名 ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	単位
科目コード	科目名 次世代ファッションビジネス	授業期間	

担当教員(代表)：仲田 朝彦	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】 各回直近の世界で新たに生まれたテクノロジー情報を共有し、IT リテラシーを向上させる。 下記3つの能力を身につけることを到達目標とする。 ① 情報収集力：最先端デジタルを中心とした世の中の動向を常時収集できる状態 ② 思考力：得た情報に対して思考する力 ③ 伝える力：企画・プレゼン力の育成及び実践機会
--

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
01.オリエンテーション 概要説明	講義	1	16.テックツール学習 3 DCG ②	講義	1
02.メタバース市場の歴史・現在・未来に関して	講義	1	17.テックツール学習 3 DCG 学習×生成 AI 活用まとめ	講義	1
03.ファッション×メタバースのポテンシャル ①	講義	1	18.コアサービスプランニング	講義	1
04.ファッション×メタバースのポテンシャル ②	講義	1	19.「優位性と独自性」を作り出す手法を学ぶ	講義	1
05.AI 市場の歴史・現在・未来に関して ①	講義	1	20.アイデアソン発表イントロダクション	講義	1
06.AI 市場の歴史・現在・未来に関して ②	講義	1	21.アイデアをビジネス化するための学習 ①	講義	1
07.プレゼンテーションスキル基礎 ①	講義	1	22.アイデアをビジネス化するための学習 ②	講義	1
08.プレゼンテーションスキル基礎 ②	講義	1	23.ビジネスモデルとマネタイズ ①	講義	1
09.生成 AI と CG を活用したプレゼンスkills	講義	1	24.ビジネスモデルとマネタイズ ②	講義	1
10.自己紹介ポートフォリオ作成 ①	ワーク	1	25.アイデアソンを通して新規事業を立案 ①	ワーク	1
11.自己紹介ポートフォリオ作成 ②	ワーク	1	26.アイデアソンを通して新規事業を立案 ②	ワーク	1
12.自己紹介ポートフォリオ発表 ①	発表	1	27.アイデアソンを通して新規事業を立案 ③	ワーク	1
13.自己紹介ポートフォリオ発表 ②	発表	1	28.アイデアソンを通して新規事業を立案 ④	ワーク	1
14.上期まとめ	講義	1	29.新規事業プレゼン発表	発表	1
15.テックツール学習 3 DCG ①	講義	1	30.総まとめ	教室にて	1

【評価方法】 S～C・F 評価 課題提出：内容評価 80％ 授業姿勢：授業出席・態度 20％

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 毎週のテクノロジーに関する WEB 時事 NEWS

授業の特徴と担当教員紹介 三越伊勢丹の中で新規事業としてメタバースとデジタルファッション事業を立ち上げ運営する非常勤講師。 ファッションと新規事業、プレゼンテーション、事業計画設計、3DCG や AI 等のデジタル関連の実務経験
--

記載者氏名 仲田朝彦

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13054	科 名	ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	1 単位
科目コード	405400	科目名	サステナブルファッション	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：高見澤ふみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

サステナブルファッションとはどのようなことなのかという基本的な内容を理解させる。その現状を把握するとともに、社会として、個人として実現可能な方法を考える。また「ファッション・装い」とはどのような意味があるのかを、健常者・障がい者・高齢者という枠ではなくインクルーシブな視点で捉え、人体の経年変化に伴う形態機能障害や先天的、あるいは後天的障害における身体機能の変化も踏まえ理解させる。クオリティオブライフの向上に通じるサステナブルファッションについて考える。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション（講義内容の説明）	講義	1
サステナブルファッションとは	講義	1
ファッション産業と環境問題	講義	1
サステナブルファッションに向けた取り組み① 新素材開発、リサイクル素材の開発	講義	1
サステナブルファッションに向けた取り組み② 企業の取り組み	講義	1
サステナブルファッションに向けた取り組み③④	演習	2
サステナブルファッションのメリット・デメリット	演習	1
個人で実践できるサステナブルファッションについて	演習	1
ユニバーサルとバリアフリー	講義	1
機能障害とファッション（車いすユーザー、下肢装具利用者、上肢離断者ほか）	講義	1
ユニバーサルとバリアフリー 市場調査（校外授業）	演習	1
ユニバーサルとバリアフリー 市場調査プレゼンテーション	演習	1
経年変化とファッション	講義・演習	1

【評価方法】

学業評価：プレゼンテーション…40%、レポート…30%、平常点…10% 授業姿勢：出欠状況…20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴：衣服を着用する土台となる人体の構造や機能を把握し、動きやすく着心地の良い服、体に合う衣服製作への応用を目指す。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒、文化・服装形態機能研究所副所長兼務
衣服製作に関わる計測などを専門とし、外部企業や他大学との共同研究やボディ・商品開発などを行う。2011 年より障がい者衣料の研究を継続。NHK E テレ「バリバラ」のバリアフリーファッションショーにも参加。（2015～17 年）

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科4年	単 位	4 単位
科目コード	科目名	現代社会とファッション	授業期間	

担当教員(代表)：五野井郁夫	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

歴史、構成、配色や市場のトレンド、さらにファッションをとりまく政治・経済・文化・社会全体のグローバルな流行の操作を分析し、ファッション・プロモーションに不可欠な知識を会得することを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
社会における美の変遷 1 シャネル・ヴィオネ	講義演習	2	ポップアート、スペース・エイジ	講義演習	2
社会における美の変遷 2 1968 年以降	講義演習	2	サマー・オブ・ラブ	講義演習	2
社会における美の変遷 3 黒の衝撃以降	講義演習	2	アンチデザイン、ミニマリズム	講義演習	2
身体性と音楽、アイコンの歴史	講義演習	2	ハイテク、ストリート	講義演習	2
美とモードの分類	講義演習	2	ランドアート、自然美	講義演習	2
ジェンダーとファッション	講義演習	2	ブルータリズム	講義演習	2
レイシズムとファッション	講義演習	2	ポストモダニズム	講義演習	2
近代デザイン史の概観	講義演習	2	アンビルド	講義演習	2
アーツアンドクラフツ、審美主義	講義演習	2	シミュレーションニズム以降再考	講義演習	2
アール・ヌーヴォーとその源泉	講義演習	2	ヤングブリティッシュアーティスト	講義演習	2
ユーゲントシュティール、分離派	講義演習	2	スーパーフラット以後再考	講義演習	2
デスティル、バウハウス、構成主義	講義演習	2	ソーシャリーエンゲージドアート再考	講義演習	2
未来派、アールデコ、ダダイズム	講義演習	2	ロマンティック・ミニマリズム	講義演習	2
シュールレアリズムとその後	講義演習	2	美とユーザビリティ	講義演習	2
インターナショナルスタイル、ビートニク	講義演習	2	全体のまとめと講評	講義演習	2

【評価方法】

毎回のプレゼンテーションと課題提出 100%

主要教材図書 藤田結子、成実弘至、辻泉『ファッションで社会学する』有斐閣 2017 年、多木浩二『ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」精読』岩波現代文庫 2001 年

参考図書 アーサー・ダントー『ありふれたものの変容 芸術の哲学』慶応義塾大学出版会 2017 年、榎木野衣著『後美術論』美術出版社 2015 年、ミシェル・フーコー『知への意志 (性の歴史)』新潮社 2001 年

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 スライド、映像による解説、アトリエ式の学生参加型演習を行う。
『ELLE ジャパン』や『文藝』等にファッション批評を多く手がけ、ファッション通信などでも定期的にアドバイスをを行っている。『現代用語の基礎知識』の新語・流行語の選評と執筆も手がけている。

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 13054	科 名 ファッション流通高度専門士科4年	単 位	1単位
科目コード 903600	科目名 国際政治学	授業期間	前期

担当教員(代表)： 五野井 郁夫	共同担当者：
------------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

世界政治の学習を通じて国際関係の基礎を理解することにより、グローバルなファッション流通の基本となる国際政治・国際政治経済にかんする必須の思考の基礎体力をつくることを目的とする。

テーマ

1. 世界政治とは何か
2. 世界政治の中の日本
3. 国際社会と国際秩序
4. 国際法
5. 安全保障 1 古典的安全保障
6. 安全保障 2 ゲーム理論 核抑止
7. 安全保障 3 人間の安全保障
8. 植民地主義 南北問題
9. 国際政治経済
10. 地域統合
11. 世界政治の担い手：多国籍企業 NGO 市民社会
12. 人権と開発、ジェンダー：SDGs、CSR、国連グローバルコンパクト
13. エコロジーと人新世
14. サイバースペースと国際政治

評価方法・対象・比重

実技 10%、課題 50%、プレゼンテーション 40%

主要教材図書 中西他『国際政治学』有斐閣

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 五野井郁夫

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	各 1 単位
科目コード	科目名	オーラルトレーニング g/h (自由選択)	授業期間	(集中)

担当教員(代表)：川井佐江子	共同担当者：佐草勇樹、中野麗子、高橋優
----------------	---------------------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>第二外国語学習に対する単位認定。20 時間以上の学習を以って 1 単位の認定とする。</p> <p>各自のレベルに合わせた学習を集中・継続して行うことにより、発音や表現の向上を目指す。</p>
--

<p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位語学留学 g/h 各 1 単位取得。 ・1 単位当たり 47 回（1 回 25 分）の学習をもって 1 単位の認定とする。 ・学生自身が自身のレベルに合わせた留学先を探し、申し込みをする。または学校が契約をしているオンライン英会話学習教材を申し込む。 ・レベルに合わせた目標を設定し、実習を行う。 ・学修先の受講証明書を発行し、提出をする。 ・上記証明書と共に成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。
--

【評価方法】

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 川井佐江子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	各 1 単位
科目コード	科目名	インターンシップ e/f (自由選択)	授業期間	(集中)

担当教員(代表) : 川井 佐江子	共同担当者 :
-------------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>社会に出てからのキャリア向上に向けた実務体験をする。各自それぞれの能力に合わせて設定できる自由選択とする。</p>

<p>【授業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ e/f 各 1 単位取得 ・主に就職内定先や、各自のキャリア向上のために学生自身がインターンシップ先を開拓する。 ・インターンシップ先の業務内容と各自のキャリア設計に合わせた目標を設定し、実習を行う。 ・インターンシップ先の指導責任者の方にフィードバックをいただく。 ・研修中のレポートは定期的に点検を行い、終了後は成果報告書を作成し提出することで単位認定とする。
--

<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、実習内容のフィードバック、レポートと成果報告書を基に評価を行う。</p>
--

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名	川井佐江子
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科4年	単 位	各1単位
科目コード	科目名 コラボレーションg/h（自由選択）	授業期間	集中

担当教員（代表）：川井佐江子	共同担当者：高橋優 中野麗子 佐草勇樹
----------------	---------------------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

リサーチから企画立案、発表を通し、共感を呼ぶ価値の創造とコミュニケーションを学ぶ。また企業とのコラボレーションによる実践的学びと実務家からの評価いただくことで、業界におけるビジネスの現状を知る。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

企業とのコラボレーションにより、リサーチから企画の種を探し、提供価値をコンセプトとして表現し、コンセプトを具現化していくプロセスを学ぶ。

また、グループワークを行うことで、コミュニケーション力やリーダーシップ、チームビルディングを体験し、上級ではマネジメント力を身に付ける機会とする。

評価方法・対象・比重

出欠、課題、グループワーク、発表、レポート

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 川井佐江子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA4	科 名	ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	3 単位
科目コード		科目名	ビジネス英語 II A	授業期間	通年

担当教員(代表) ヴォーン・アリソン

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1. To feel confident in using English in a variety of business situations.
2. To be exposed to a variety of business English phrases. This year, with the implementation of the DMM Eikaiwa program, students' talk time will increase dramatically, which will help achieve the above goals.

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Course Description	演習	1	Reflexive Pronouns / Describing People's Actions	演習	1
Presentation Strategy	演習	1	REVIEW	演習	1
Answering the Phone	演習	1	Comparative Adverbs / Ongoing Activities / Results / Quiz	演習	2
Designers Known Worldwide	演習	1	Expressing Past & Future Ability / Preparation Speaking Presentations Part 1	演習	2
Warming Up Exercise	演習	1	Expressing Past & Future Obligations Preparation Speaking Presentations Part 2	演習	2
My Life Plans	演習	1	Be Able to / Too + Adjective / Giving Excuses	演習	2
Review of Tenses: Simple Present & Present Continuous Tense / Friendship	演習	2	Must / Mustn't / Medical Advice	演習	2
Countable & Uncountable Nouns / Food / Clothing / Household Items	演習	2	Should / Shouldn't / Getting Around Hospitals / Quiz	演習	2
Imperatives / Ordering in Restaurants	演習	2	Illnesses / Health / Nutrition	演習	2
Time Expressions / Numbers in the Fashion World (Prices / Bargains / Second Hand Discounts)	演習	1	Future Continuous / Describing Future Activities	演習	2
REVIEW	演習	1	Making Plans For The Future	演習	2
Comparisons / Expressing Opinions Quiz	演習	2	Basic Telephone English	演習	2
Superlatives Evaluating Fashion Brands	演習	2	Group Presentations	演習	1
Imperatives / Directions & Getting Around Your Communities	演習	2	Final Examination	演習	1

【評価方法】

授業参加度 (25%) DMM英会話履修状況 (25%) プレゼンテーション (25%) プロジェクト (25%)

授業の特徴と担当教員紹介 オンライン英会話である DMM 英会話を導入し、受講者の発話の機会を増やす

主要教材図書 Discussion Strategies
English in 30 seconds

参考図書

その他資料

記載者氏名 ヴォーン・アリソン

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RA4	科 名	ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	3 単位
科目コード		科目名	ビジネス英語 II B	授業期間	通年

担当教員(代表)：三村 典召

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

高校までの英文法を4技能全ての側面から復習し、ビジネスの様々なシチュエーションを想定したアクティビティーで運用練習を行う。ファッションを専攻している学生を対象としているため、ファッション関連の語彙・表現を増やすことにも重点を置いたプログラムとしている。過年度に行ったプレイスメントテストの結果に基づいたクラス編成とし、各学生のレベルに合わせて進度を調整する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
コース概要説明	演習	1	文法⑧～ing 形	演習	1
プレゼンテーション・ストラテジー	演習	1	世界の諸問題	演習	1
電話応対	演習	1	文法⑨過去形・現在完了形	演習	1
海外著名デザイナー	演習	1	数表現	演習	1
文法①名詞	演習	1	シャドーイング	演習	1
プレゼンⅠ 私の人生設計	演習	1	文法⑩分詞	演習	1
文法②代名詞	演習	1	ビジネスレター&メール (1)	演習	1
店内マップと案内	演習	1	ビジネスレター&メール (2)	演習	1
文法③動詞	演習	1	文法⑪比較級	演習	1
基本文型とその使い方	演習	1	プレゼンⅢ マイホームタウン	演習	1
求人票	演習	1	新聞&ニュース	演習	1
文法④動詞 (2)	演習	1	Youtube 企画立案	演習	1
英文履歴書/ジョブインタビュー	演習	1	文法⑫接続詞	演習	1
まとめ	演習	1	ファッション・スタイルを表す形容詞	演習	1
文法⑤助動詞	演習	1	文法⑬関係詞	演習	1
スキミングとスキヤニング	演習	1	新年の抱負	演習	1
プレゼンⅡ 私の尊敬する人	演習	1	ファッションショーと授賞式	演習	1
文法⑥形容詞・副詞	演習	1	ホームページ & SNS	演習	1
ファッション誌	演習	1	インタビュー	演習	1
文法⑦現在形	演習	1	ファッション誌	演習	1
ソーイング・ツール	演習	1	店内ポップと企業スローガン	演習	1
スカートの製作工程	演習	1	まとめ	演習	1

【評価方法】

授業参加度 (25%) DMM英会話履修状況 (25%) プレゼンテーション (25%) プロジェクト (25%)

授業の特徴と担当教員紹介

コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける

主要教材図書 適宜プリントを配布する。

参考図書

その他資料

記載者氏名 三村 典召

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通高度専門士科 4 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 特別講義Ⅳ	授業期間	通年

担当教員(代表)：川井佐江子

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションを広く捉え、グローバルに活躍する人材から社会の現状やビジネスの難しさ、楽しさを学び、幅広い視野を持ち、キャリアを積み上げていく柔軟な発想へつなげていくことを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

現在アパレル業界やファッション関連業界で活躍している方の実務経験を中心に講義いただく

- ・リテールビジネスの現状
- ・4学年合同特別プログラム
- ・ファッションとITの可能性
- ・商品価値と価格のバランス
- ・舞台衣装見学
- ・工場見学
- ・SNSの活用法～インサイト分析～
- ・世界の環境保全
- ・世界のドネーション
- ・投資&資産運用
- ・サーキュラービジネス

他

【評価方法】

履修認定(P表示) 学業姿勢・出欠状況を基に履修認定の是非を決定する

主要教材図書 特になし

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴

現在アパレル業界やファッション関連業界で活躍している方の実務経験を中心に講義いただく

担当教員紹介

コレボレーション企業や卒業生を中心に、毎回講師を依頼し実施

記載者氏名 川井佐江子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RA4	科 名 ファッション流通高度専門士科 4年	単 位	4単位
科目コード	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：川井佐江子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マイビジネスプロジェクトの実習として、現状調査から核となるコンセプトの設定をし、その具現化として具体的施策を立案していく。発表・展示をした後、講師や関連企業のフィードバックを受け、レポートとしてまとめ、将来のキャリアにつなげるものとする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、情報収集→企画のタネを探す(12コマ)

- ・興味の対象を探し、足を運び、見て、記録する(Research&Report)

情報整理

- ・情報ファイル作り
- ・更に深く調査する対象を検討する
- ・企画のタネがビジネスになるかどうかも含め検討

2、興味・着眼した事項を独自の視点を持って調査研究まとめ・発表(30コマ)

情報収集まとめ 企画立案実習

独自の視点での調査研究

- ・着眼の深掘り
- ・プレゼンテーションツール(パワーポイントによるマップ)作成
- ・成果発表リハーサル

成果発表プレゼンテーションの実施

3、卒業研究・創作まとめ(16コマ)

成果発表のフィードバックを講師やインターンシップ先企業などからいただく
上記も含め卒業研究としてまとめる

【評価方法】

学業評価(平常授業応答、課題)70% 授業姿勢(出欠状況、授業課題提出状況)30%

主要教材図書 各自

参考図書 特になし

その他資料 特になし

授業の特徴

個々の将来のキャリアの中で実施したいプロジェクトの立案を、ワークシートや点検を行い、作り上げる

担当教員：川井佐江子 財団法人専修学校教育振興協会認定 専修学校教員資格取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター(プライマリー)取得

一般社団法人 足と靴と健康協議会 シューフィッター(幼児子ども)取得

一般財団法人 日本教育推進財団監修 日本コミュニケーション能力認定協会 コミュニケーション能力検定2級取得

一般財団法人日本能力開発推進協会 JADP 認定チャイルドコーチングアドバイザー取得

記載者氏名 川井佐江子